

近未来のまちと そこにある図書館



2025.11.10
三浦丈典/スターパイロッツ



「四万十町文化的施設」 （高知県）



文化的施設整備事業の中止について

ページID：11318 / 担当：生涯学習課 / 掲載日：2024/03/29

文化的施設整備事業につきましては、平成29年9月の「文化的施設検討委員会」の設置を皮切りに、これまで6年余りの歳月をかけ、関係機関や町民の皆様とともに検討を進めてきました。

しかし、令和5年9月の議会定例会において「施設本体の建築工事に係る請負契約議案」が否決されたことから、施設建設が立ち止まったこととなりました。その後、関係機関や町民の皆様と協議を重ね、事業の再開に向けた協議を続けてきましたが、現計画・現施設規模での文化的施設の整備については、「中止せざるを得ない」との判断に至りました。

このため、令和6年3月6日に開会した令和6年3月議会定例会において、町長より「本事業の中止」を表明いたしました。（中止の判断に至った詳細な理由等につきましては、下記「行政報告（抜粋）」をご覧ください。）

これまで本事業に携わっていただきました関係機関の皆様、町民の皆様、事業者の皆様には、感謝申し上げますとともに、多大なご迷惑をおかけいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

また、施設の完成を心待ちにしていた町民の皆様に対しましては、このような状況になりましたこと、重ねてお詫び申し上げます。

工事落札後に議会で中止決定

重要なお知らせ

[令和7年度四万十町職員採用資格試験の実施について](#) →

[7月20日（日）は参議院議員通常選挙の投票日です](#) →

[【新規募集】中間管理住宅（上秋丸）入居者を募集します](#) →

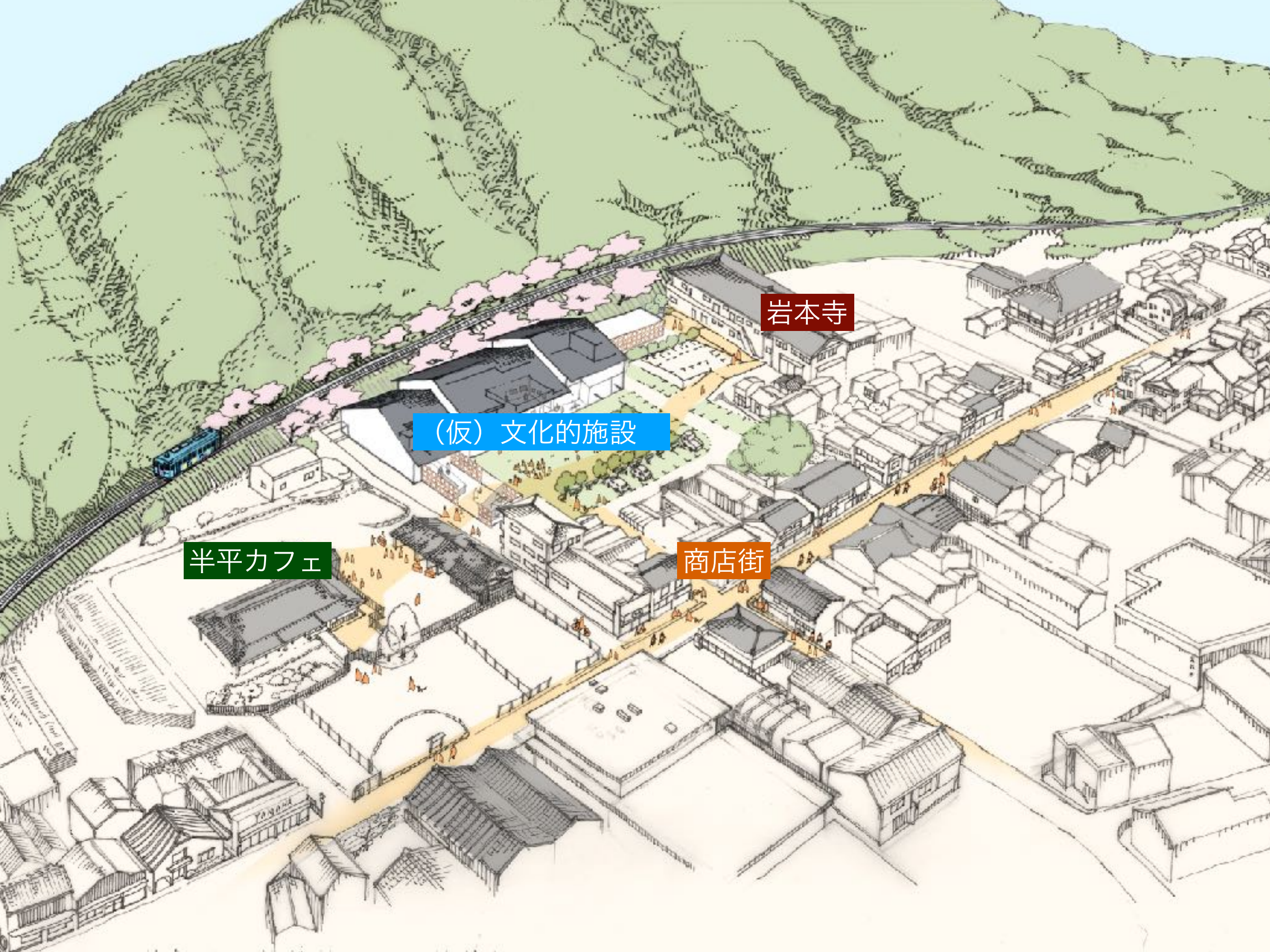
[令和7年度四万十町観光交流拠点施設整備実施設設計等策定業務公募型プロポーザルの結果について](#) →

[令和7年度 高幡消防組合職員採用資格試験案内](#) →

[もっと見る](#)

図書館・美術館

文化的施設整備事業の中



岩本寺

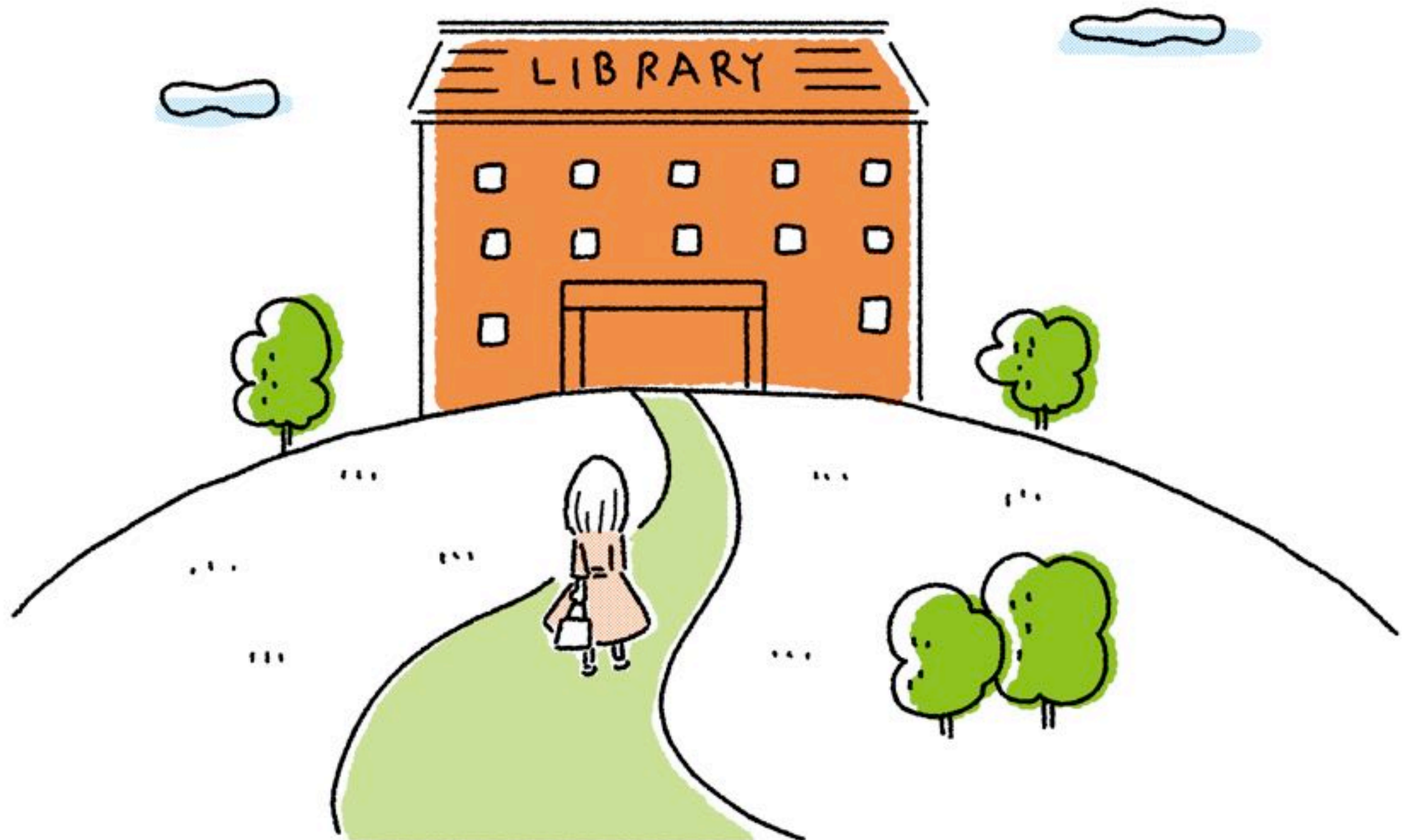
(仮) 文化的施設

半平カフェ

商店街

かつて図書館は、

まちのなかでも 静かで落ち着いた場所によくつくられました。





そこは本を借りたり、静かに読んだり、観賞したりする場所でした。

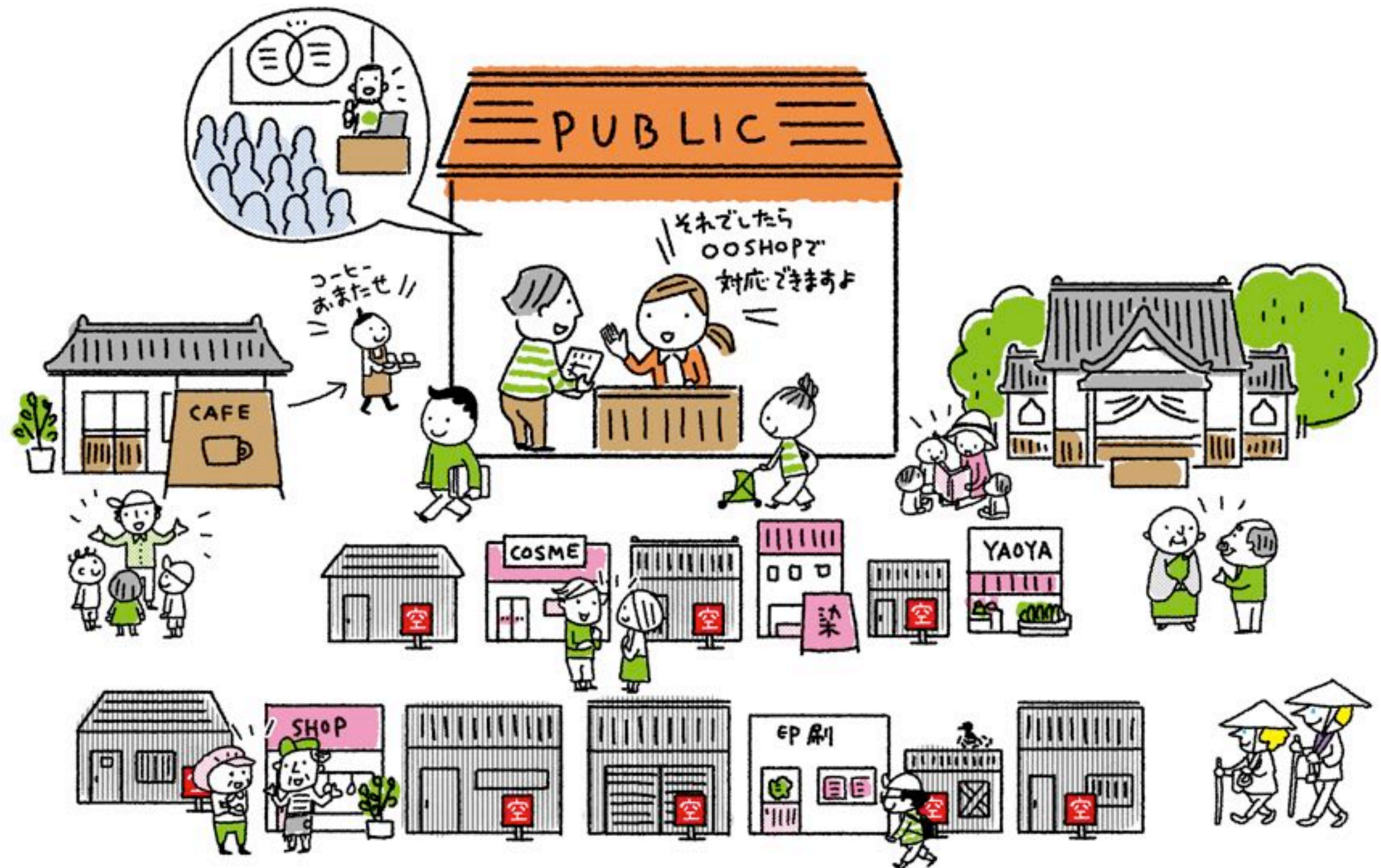
時代は変わって、図書館はまちの人たちの
さまざまな質問や要望に応じてあげる場所になっていきました。



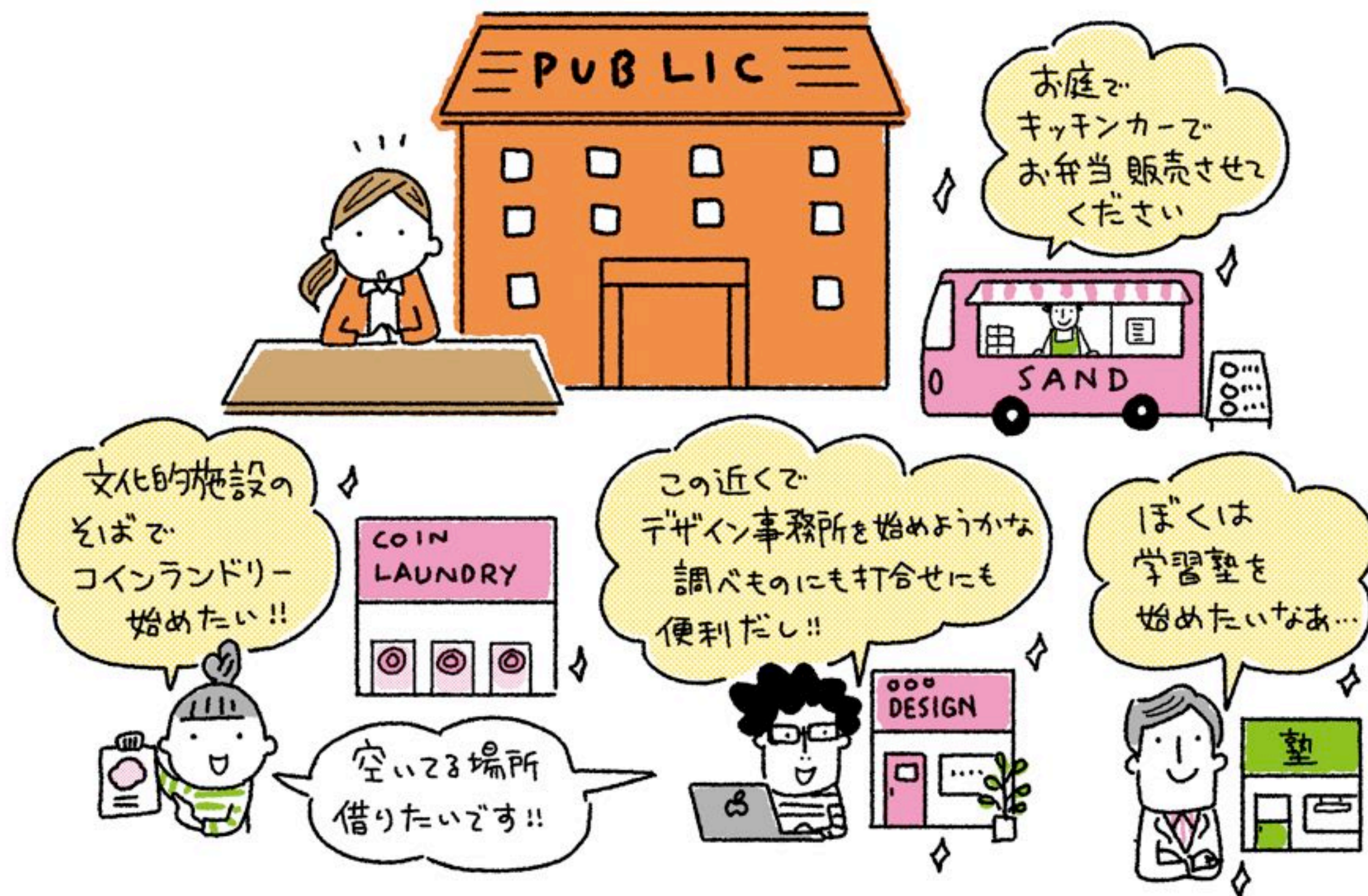


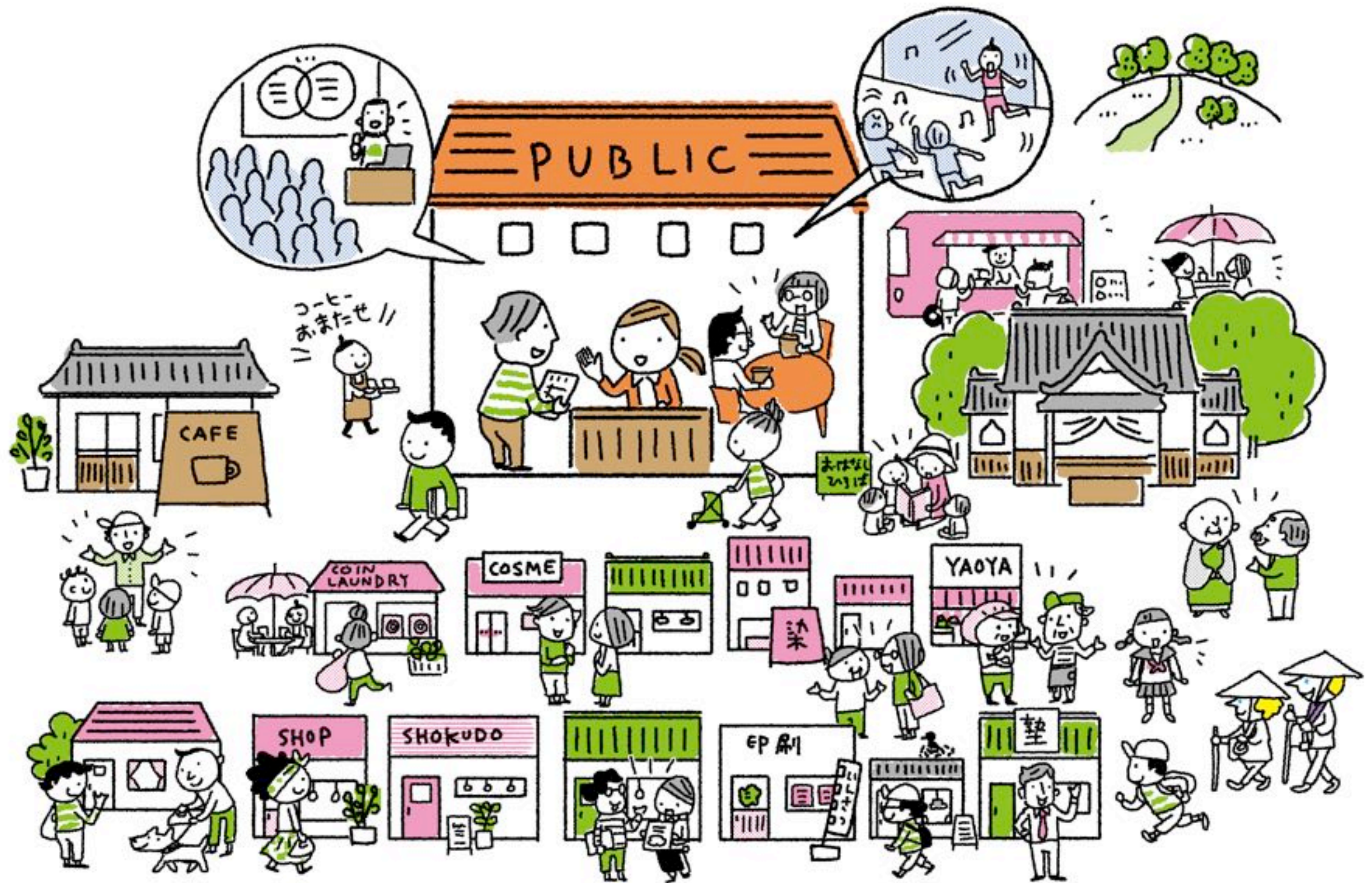
そこで、図書館は古くからの文化や商いが残り、
そして少し空き家もあるまちの一角に引っ越すことにしました。
思い切って名前も変えることにしました。

じぶんの施設でできないことは、まわりのお店や施設にどんどん手伝ってもらいました。すると建物だけでなく、近所にも活気が生まれていきました。



しばらくすると、近くの空き家を借りて新しい商売を始めたいという人が
つぎつぎと 現れました。





辺り一帯は人通りが増え、お店の売上げも上がりました。

空き家も減って家賃が上がり、大家さんたちは喜びました。

固定資産税の税収も増えて役場の人もニンマリです。



名もなき道から歩行者中心の「図書館通り」へ

「図書館は単なる文化的政策ではなく、社会政策、児童政策、
高齢者政策、福祉政策、教育政策、そして都市政策でもある。
だからこそ図書館が閉鎖することは民主的な基盤が消えること
を意味するのだ」

（『図書館の閉鎖によって消えるのは本だけではない』
エリフ・トゥナスデペ）



計画準備室

設計者

室長

計画策定支援

悩むあなたは 孤独じゃない。

まだ見ぬ未来の計画に取り組む公務員たちへ。



大河原 信子

合同会社構想デザイン代表社員
岡山市生まれ。図書館司書。



岡本 真

アカデミック・リソース・ガイド株式会社
(arg) 代表、株式会社C&Yパートナーズ

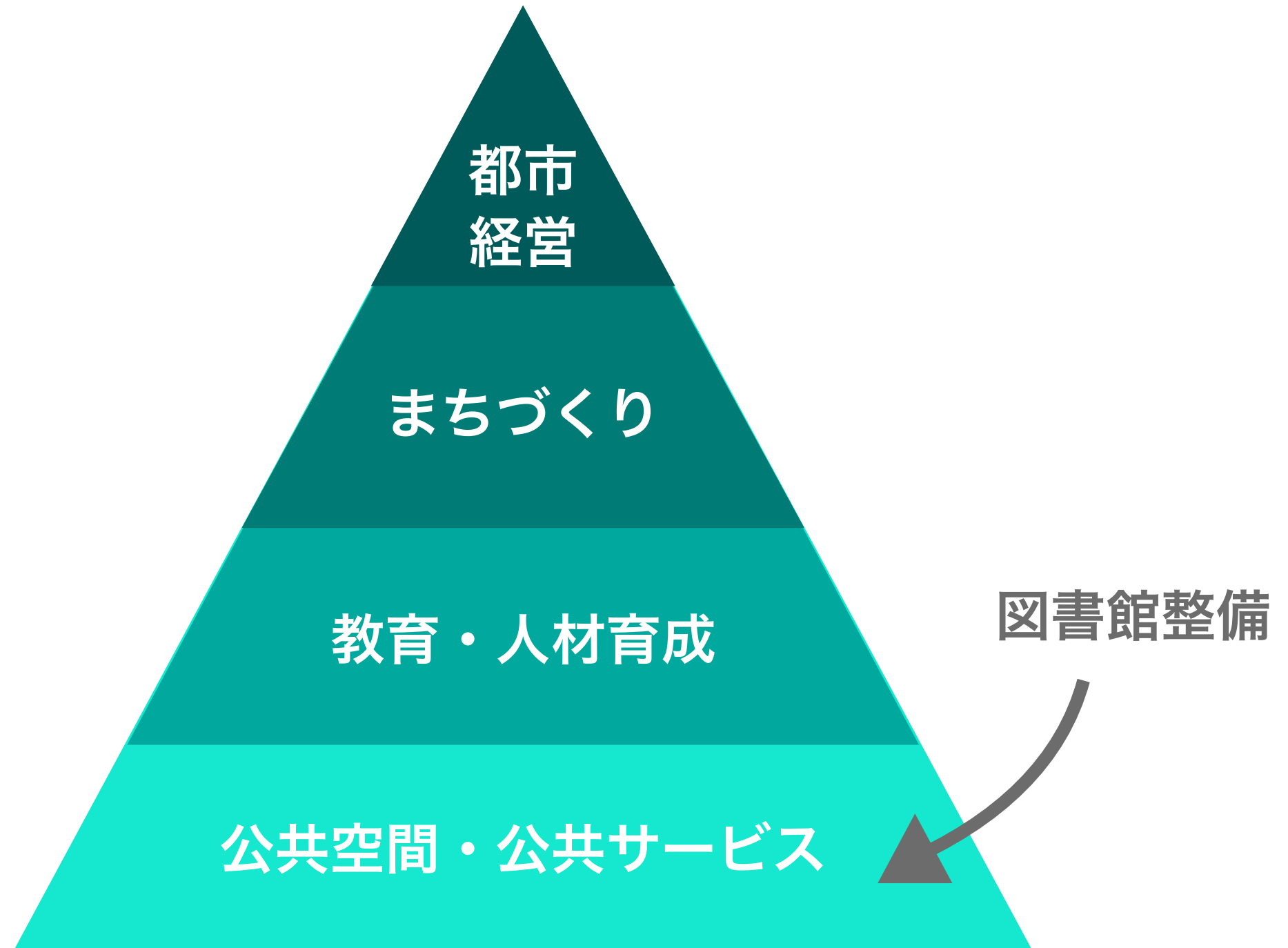


三浦 丈典

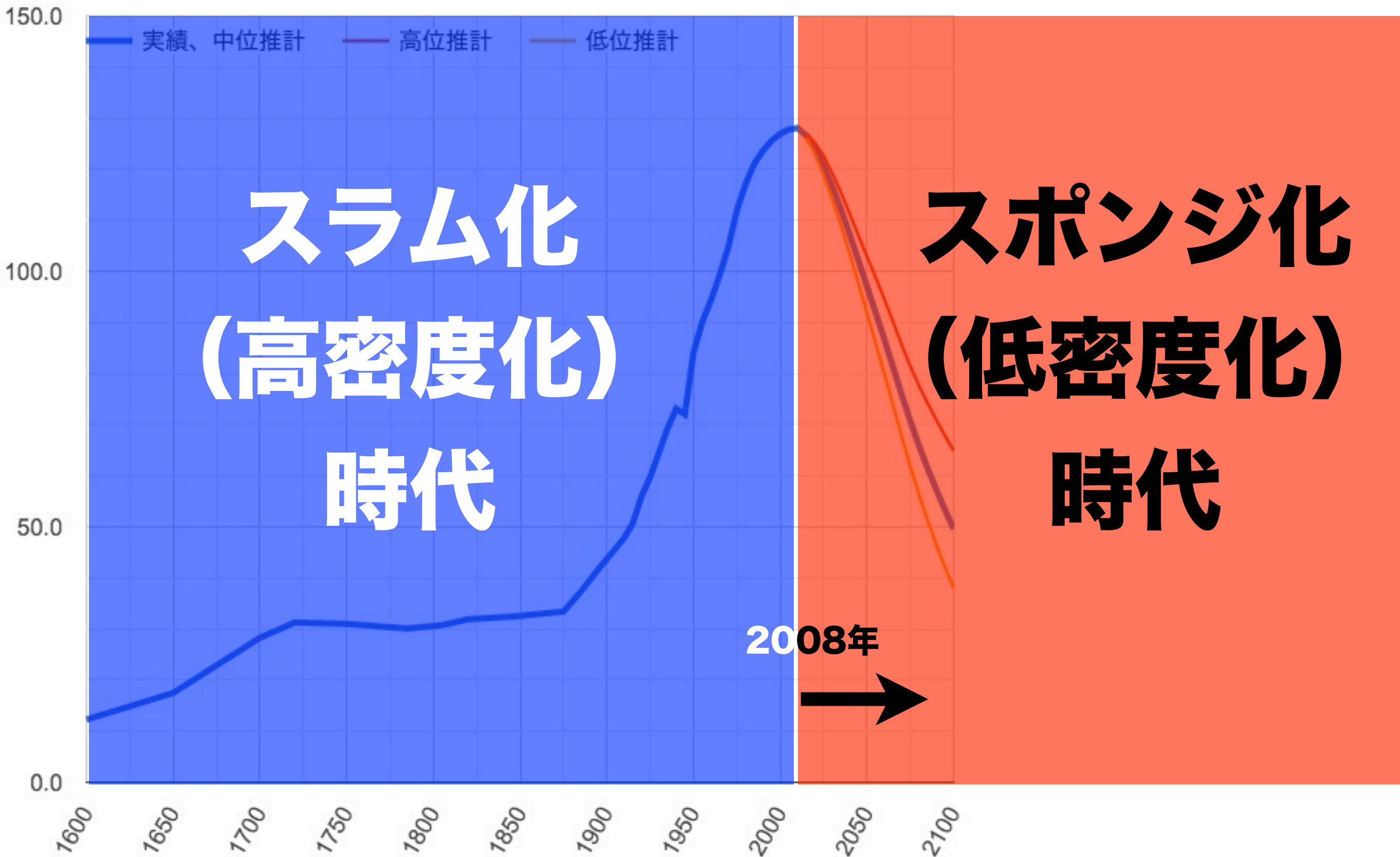
一級建築士事務所スターパイロット代表。
日本各地の公共施設の計画や設計に携わり

図書館をつくるということは
まちをつくるということです

自治体の「目的ピラミッド」



我が国人口の長期的な推移



つくることが
目的になった
時代

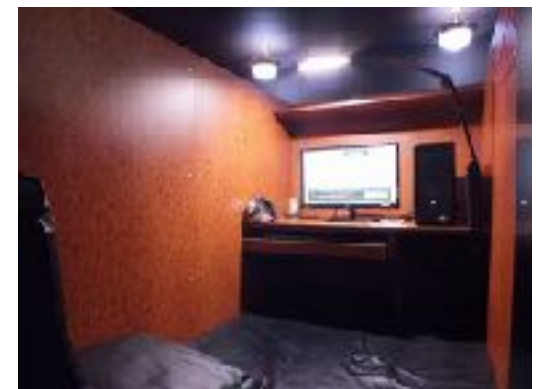
つくる理由が
必要になる
時代



**消費型
社会**

**耐久型
社会**





消費型社会

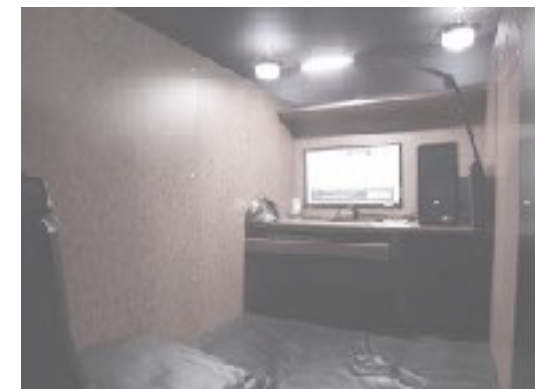
モノがある

便利で快適

新しさ

効率とスピード

プライバシー



消費型社会



耐久型社会

モノがある

便利で快適

新しさ

効率とスピード

プライバシー

意味がある

不便だけど素敵

ワビ・サビ

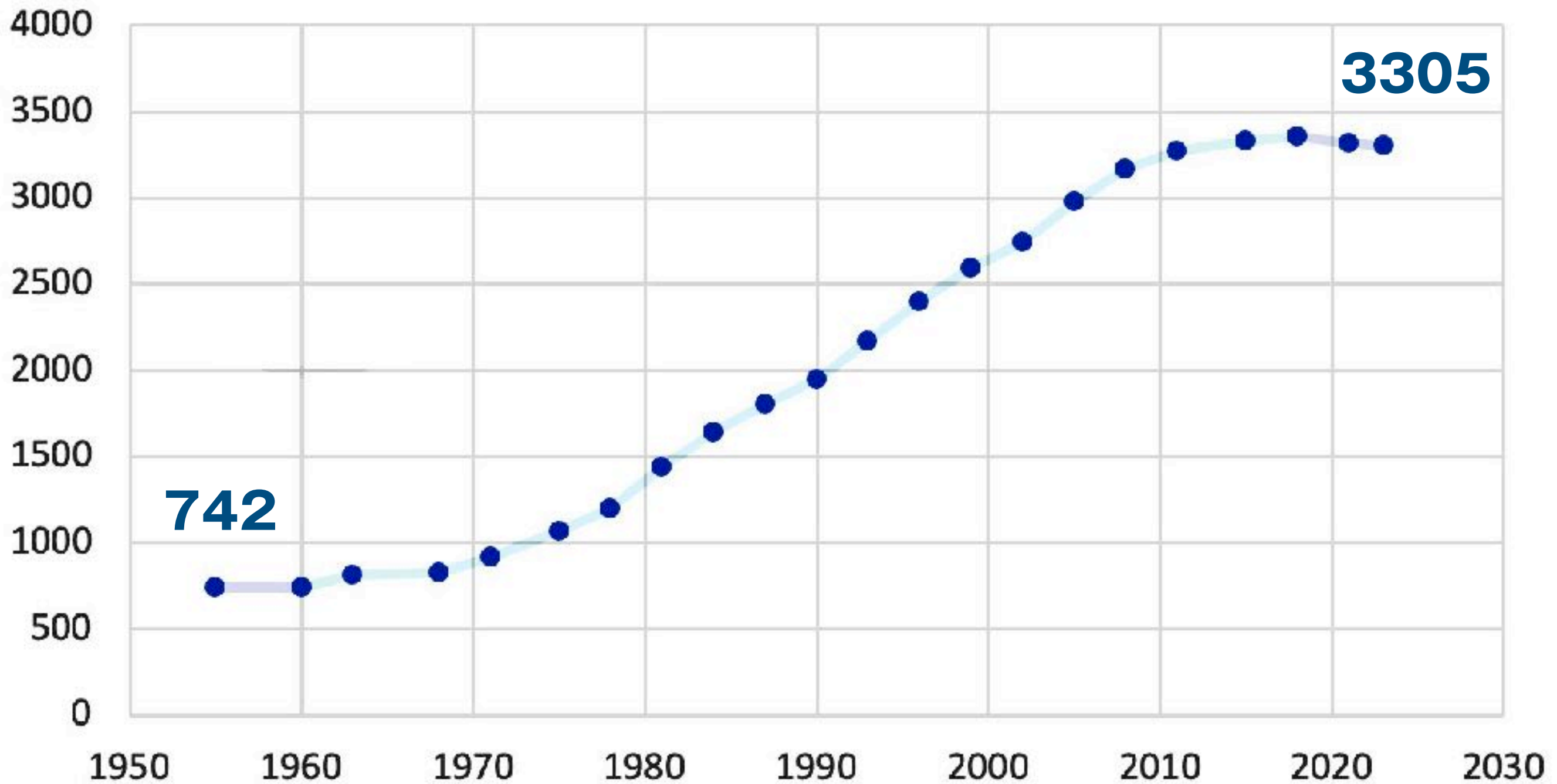
無駄と遊び

つながり

※「溶けていく『昭和的価値』」 山口周



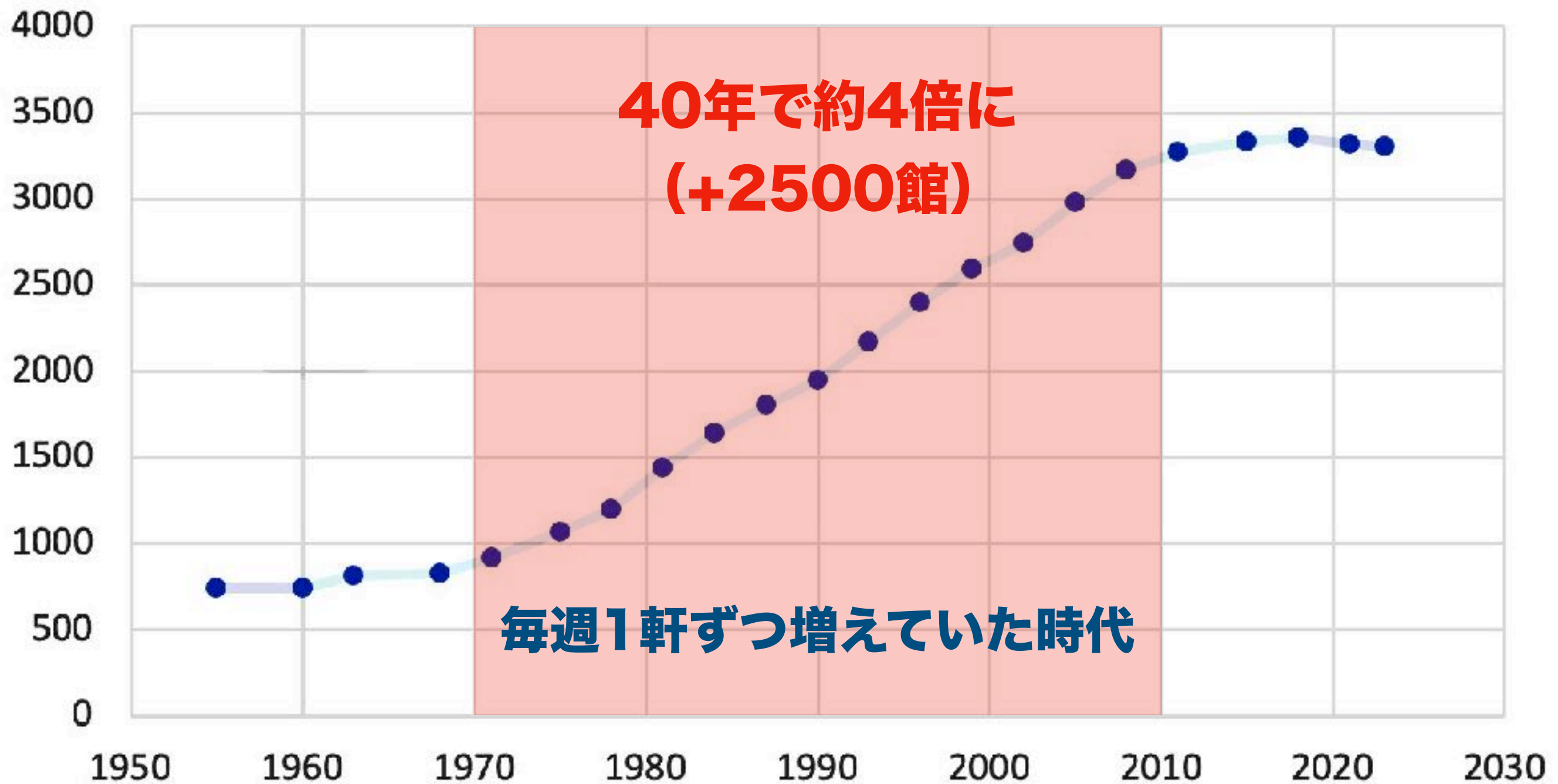
Libraries



日本の公立図書館設置数

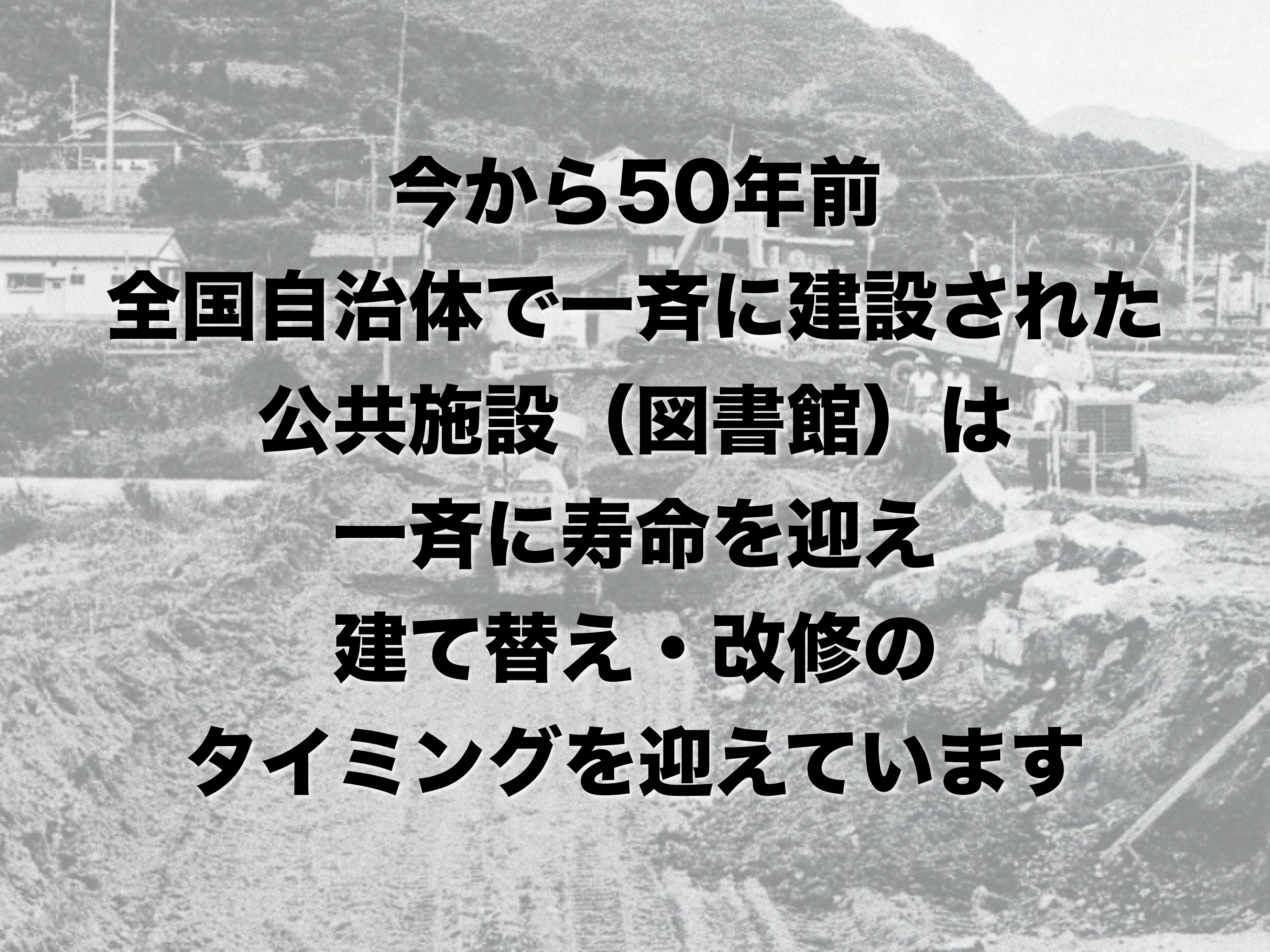
文部科学省の定点調査「社会教育調査」より

Libraries

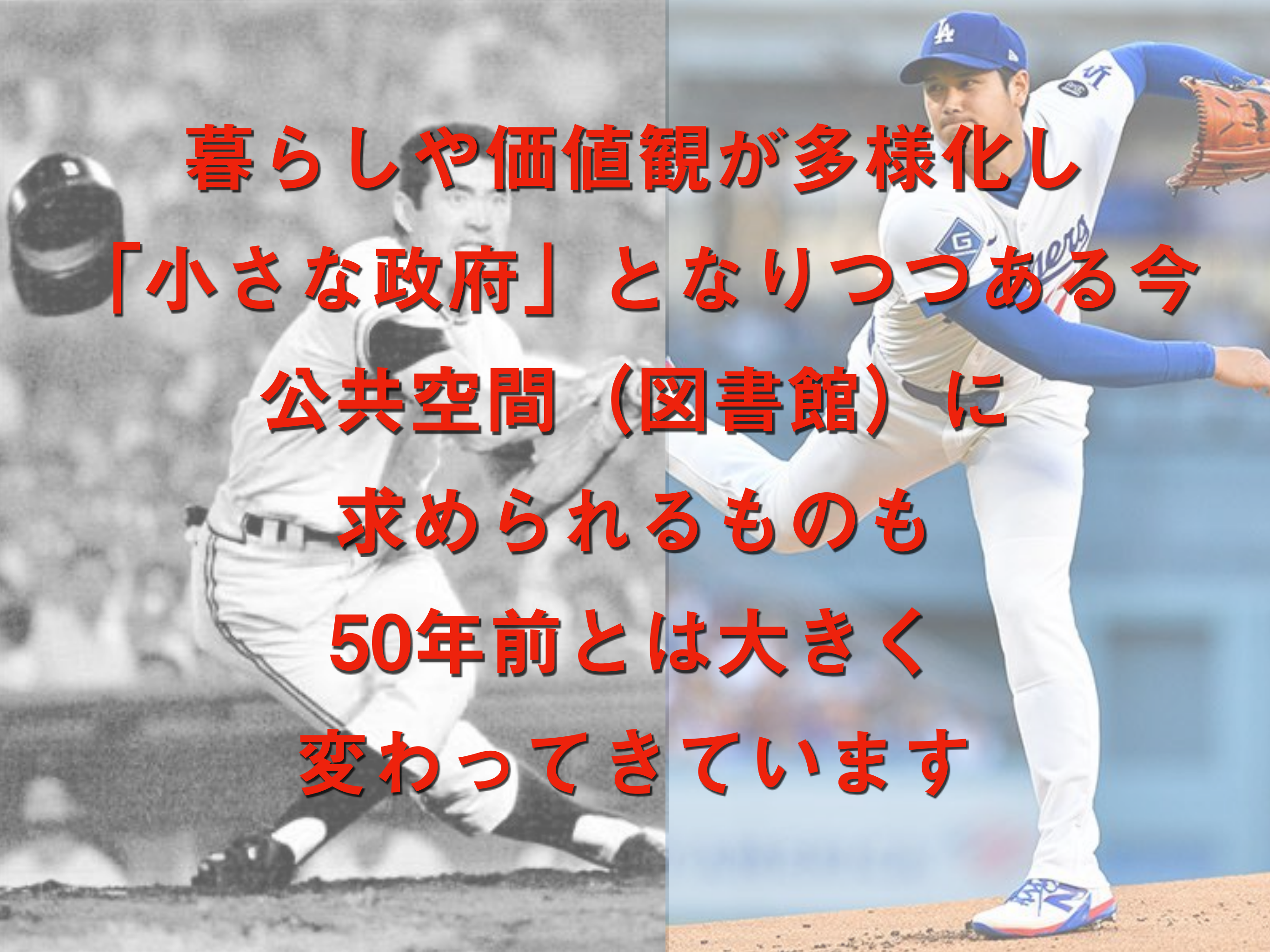


日本の公立図書館設置数

文部科学省の定点調査「社会教育調査」より



**今から50年前
全国自治体で一斉に建設された
公共施設（図書館）は
一斉に寿命を迎え
建て替え・改修の
タイミングを迎えています**



暮らしや価値観が多様化し
「小さな政府」となりつつある今
公共空間（図書館）に
求められるものも
50年前とは大きく
変わってきています

「学校をサボってショッピングモールやゲームセンターに行ける中学生たちと違い、ミアには図書館ぐらいしか時間を潰す場所がなかった。冬は特にそうだ。ここは適度に暖かく、運が良ければ、テーブルの上にフルーツや食べ残しのチョコレートバーを置いて帰る人がいる。本当に私はホームレスの人たちと同じだとミアは思った。臭うかもしれないから閲覧室にも入れない。」

(『両手にトカレフ』 ブレイディみかこ より)



「場所としての図書館・空間としての図書館」

根本彰（東京大学名誉教授） 学分社 2015年

「図書館はそのコミュニティの構成員誰もが自由に出入りし、一定時間の滞在を許される場所である。そこに入った利用者はやろうと思えばきわめて多種多様な知的活動をすることができるし、場合によっては何もしなくてもよい。新旧の資料が得られれば、最新の電子情報へのアクセスが可能になるし、各種の行事やセミナーに参加することもできる。これが地域的コミュニティあるいは機能的コミュニティいずれにとっても、場所としての図書館が果たすべき役割である。別に目的がなくとも、そこにいることを許す公共施設というのは、図書館以外に公園くらいしかない。」

静岡県 牧之原市







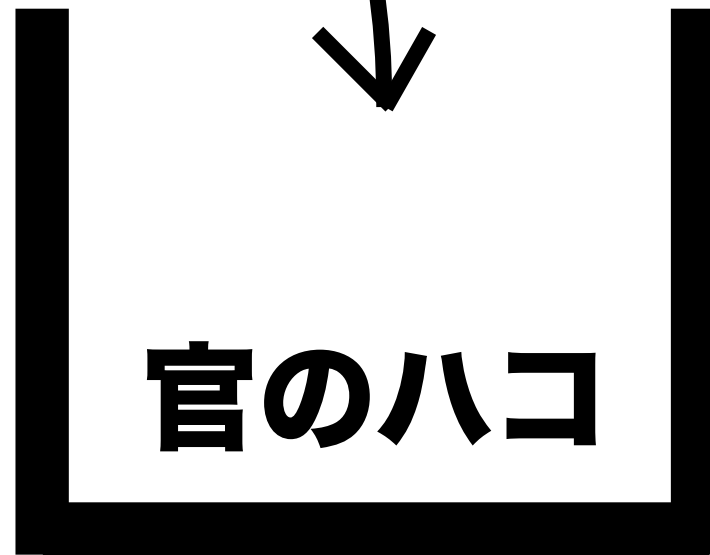
テナント・運営

デメリット

慢性的な赤字体質
モチベーションの低下
“公共性”配慮の限界
さまざまな規制

メリット

自治体のコスト削減
高水準の民間サービス
雇用拡大



官のハコ

「公設民営」

(例：指定管理者制度)



テナント・運営

デメリット

長期計画が立てづらい

家賃が高い

なんとなくダサい

メリット

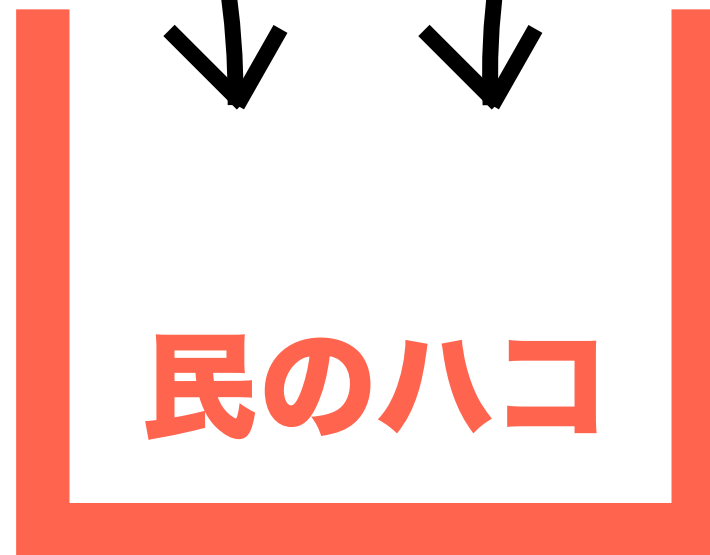
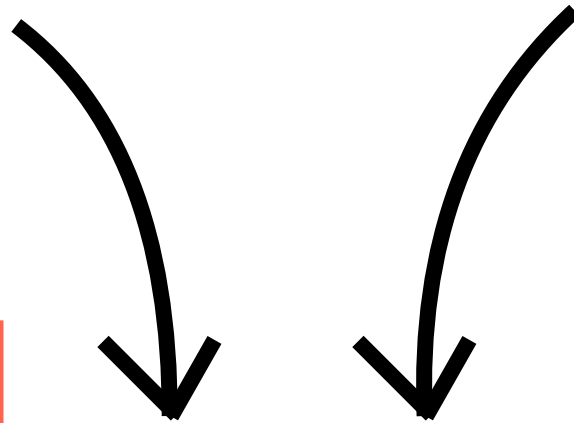
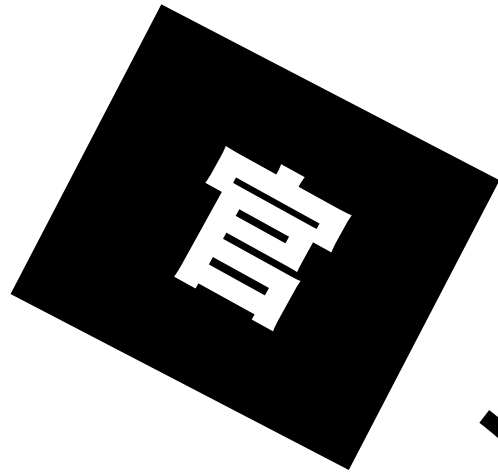
比較的立地がよい

初期投資が少なく済む

民のハコ

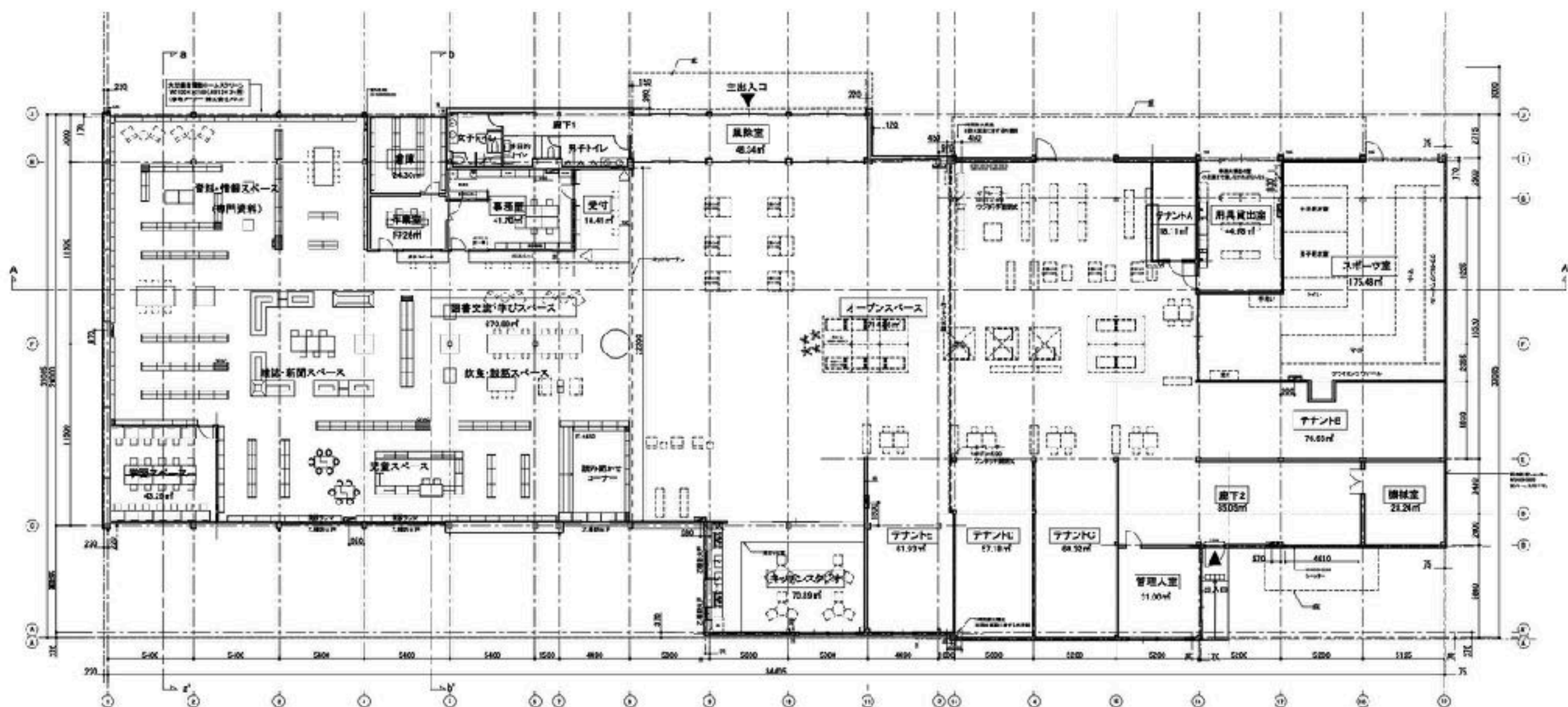
「民設公営」

相乗効果を生む共存



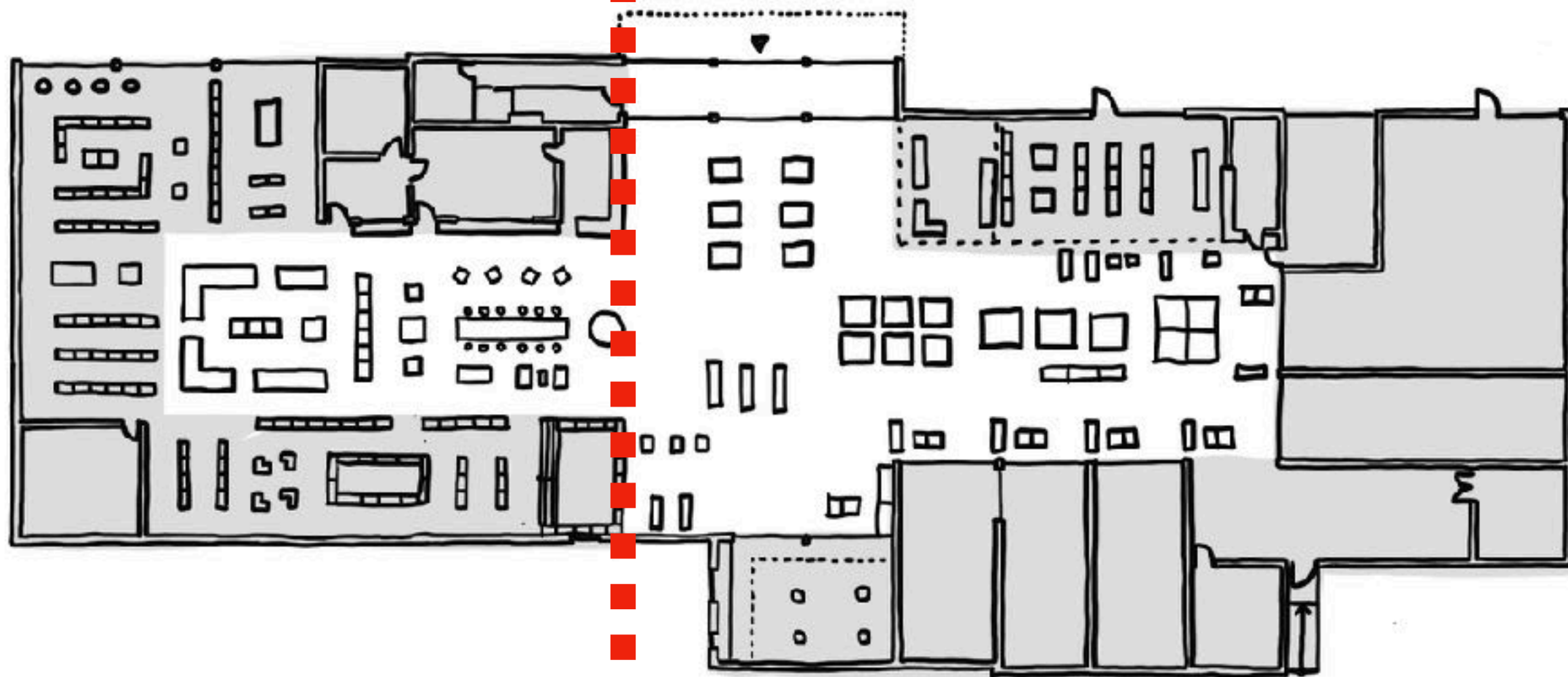
牧之原モデル

「民設共営」



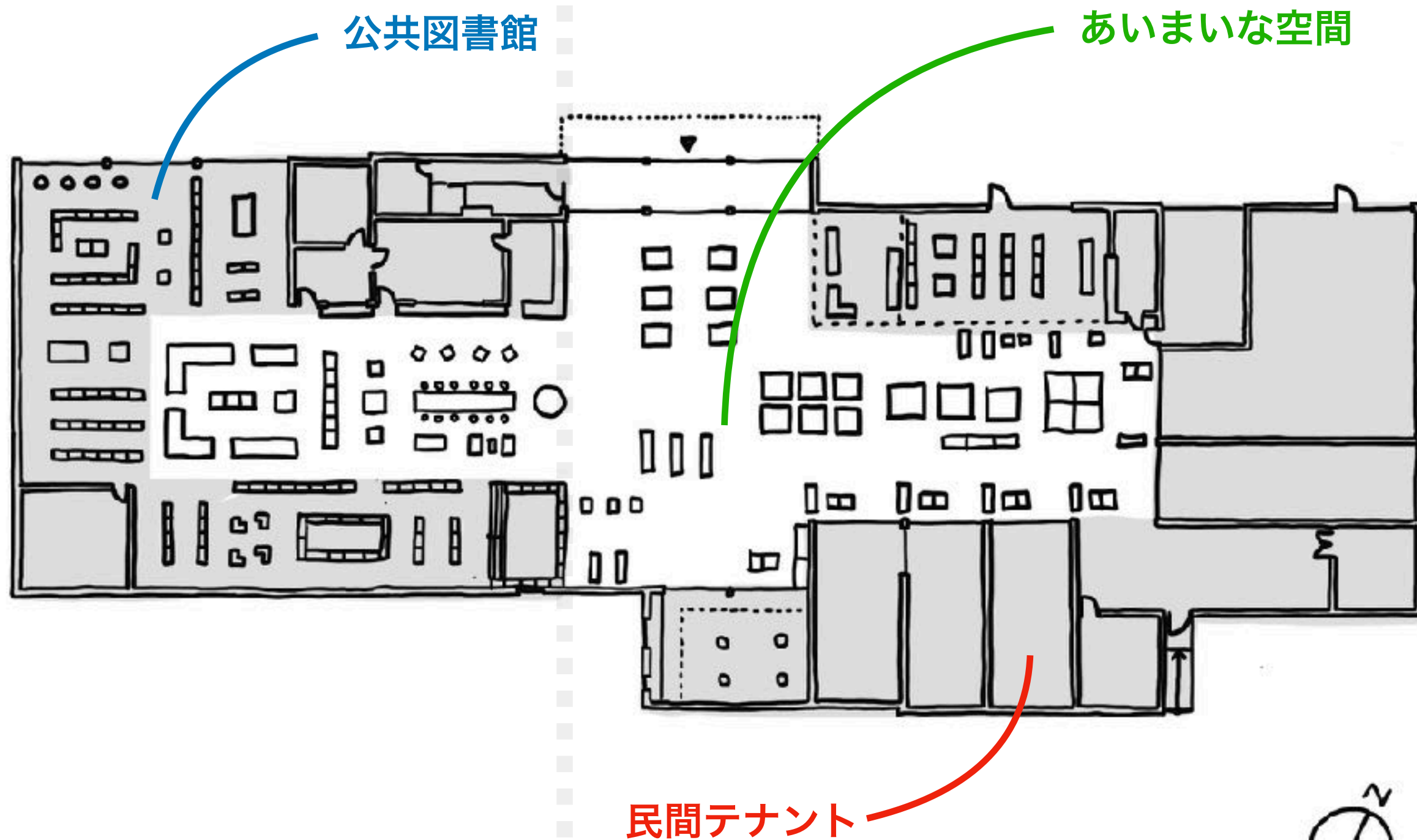
官

民



実際の官民境界





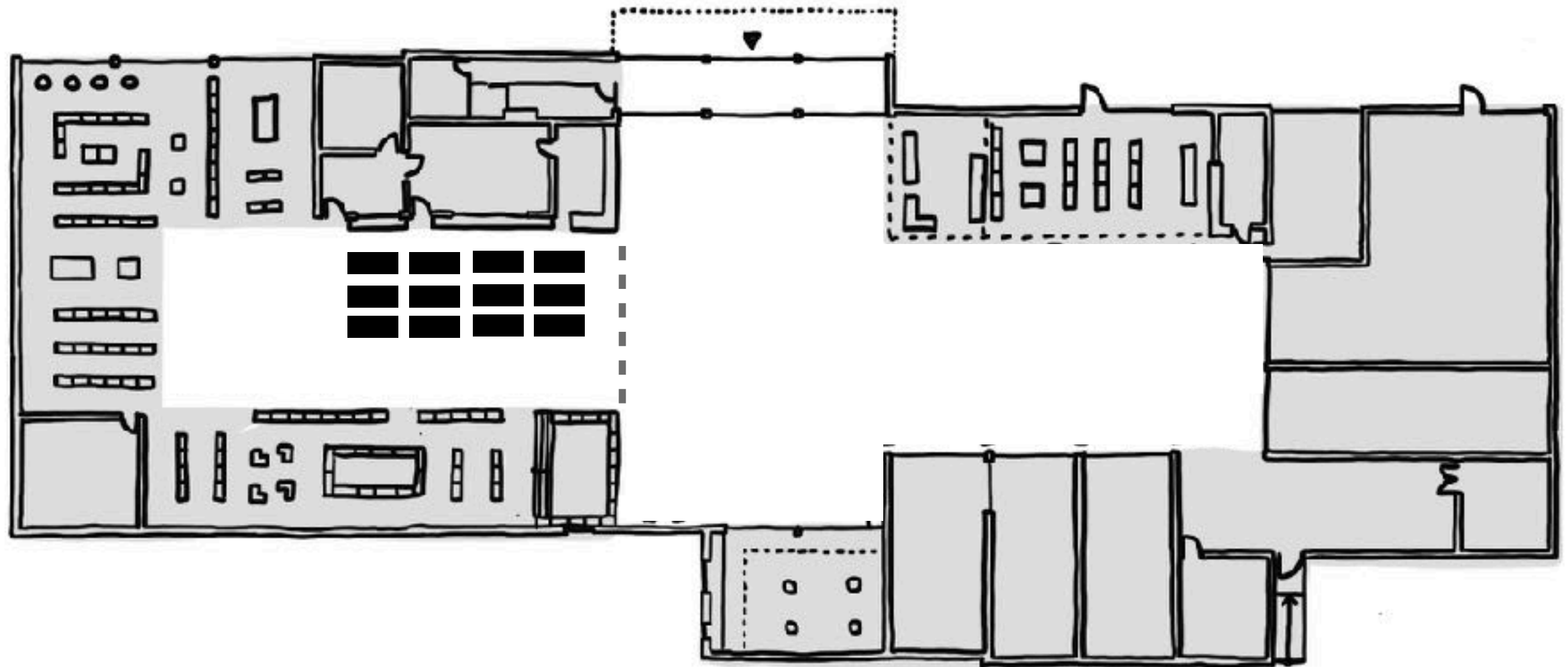
実際の官民境界（見えない）



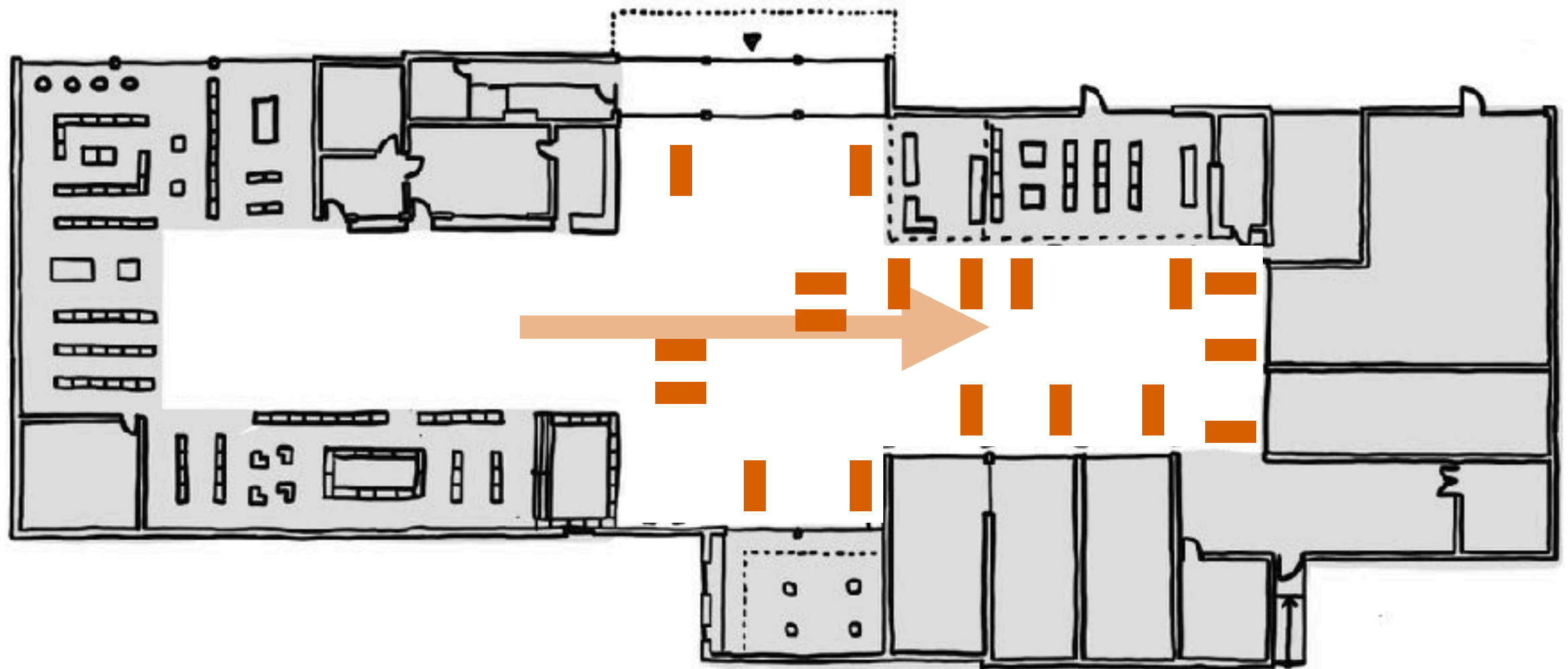
**官と民が溶け合った
これからの公共空間をつくる**

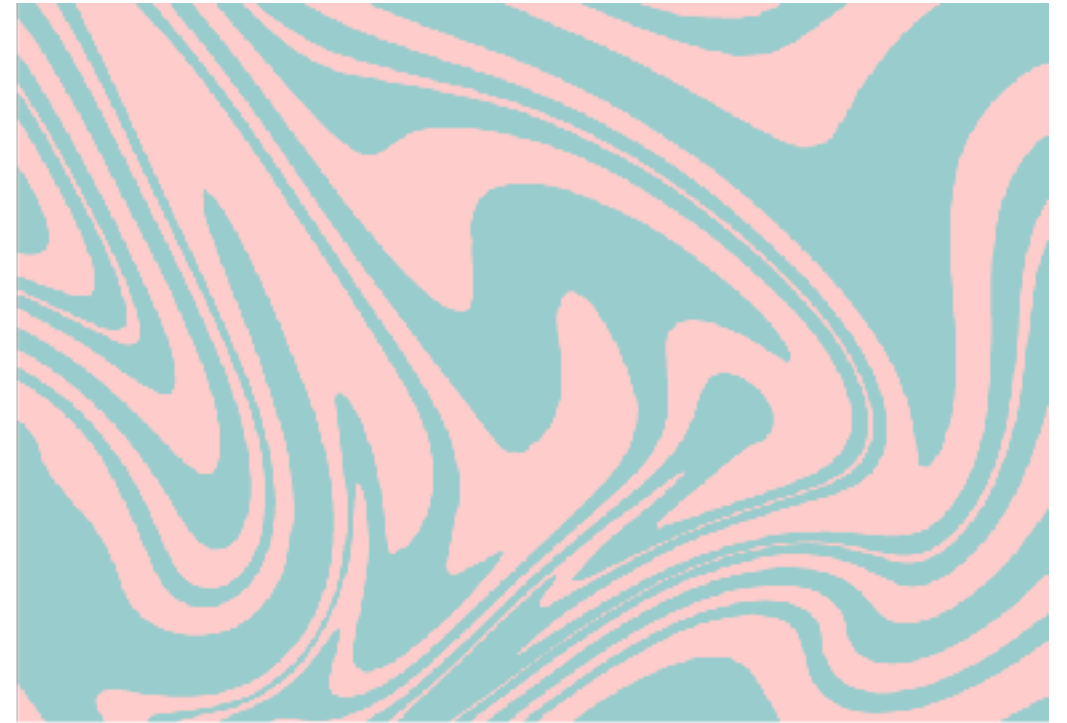
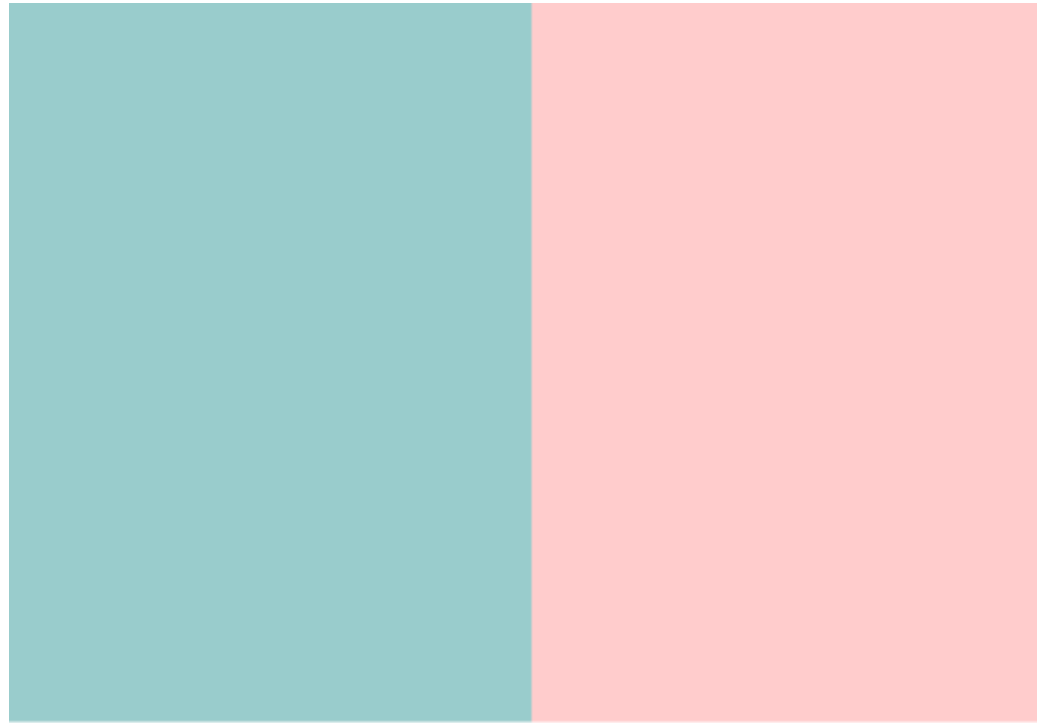


Movable Book Shelves



Displaying books related to each shop





官/民

図書館/それ以外

大人の空間/こどもの空間

静かな空間/にぎやかな空間

学習/創造

インクルーシヴで寛容な

これからの公共空間



牧之原市立図書交流館 2021年4月オープン













ひとつの空間に多様な目的と機能を重ねることで、
館内に賑やかさと落ち着きが共存し、
利用者の多様なニーズを叶える。



ひとりの利用者が複数の空間を往来することができ、
ライフステージのどの段階で図書館を訪問しても、
必ずどこかに自分のスペースを見つけられる。

図書館の評価基準

<今まで>

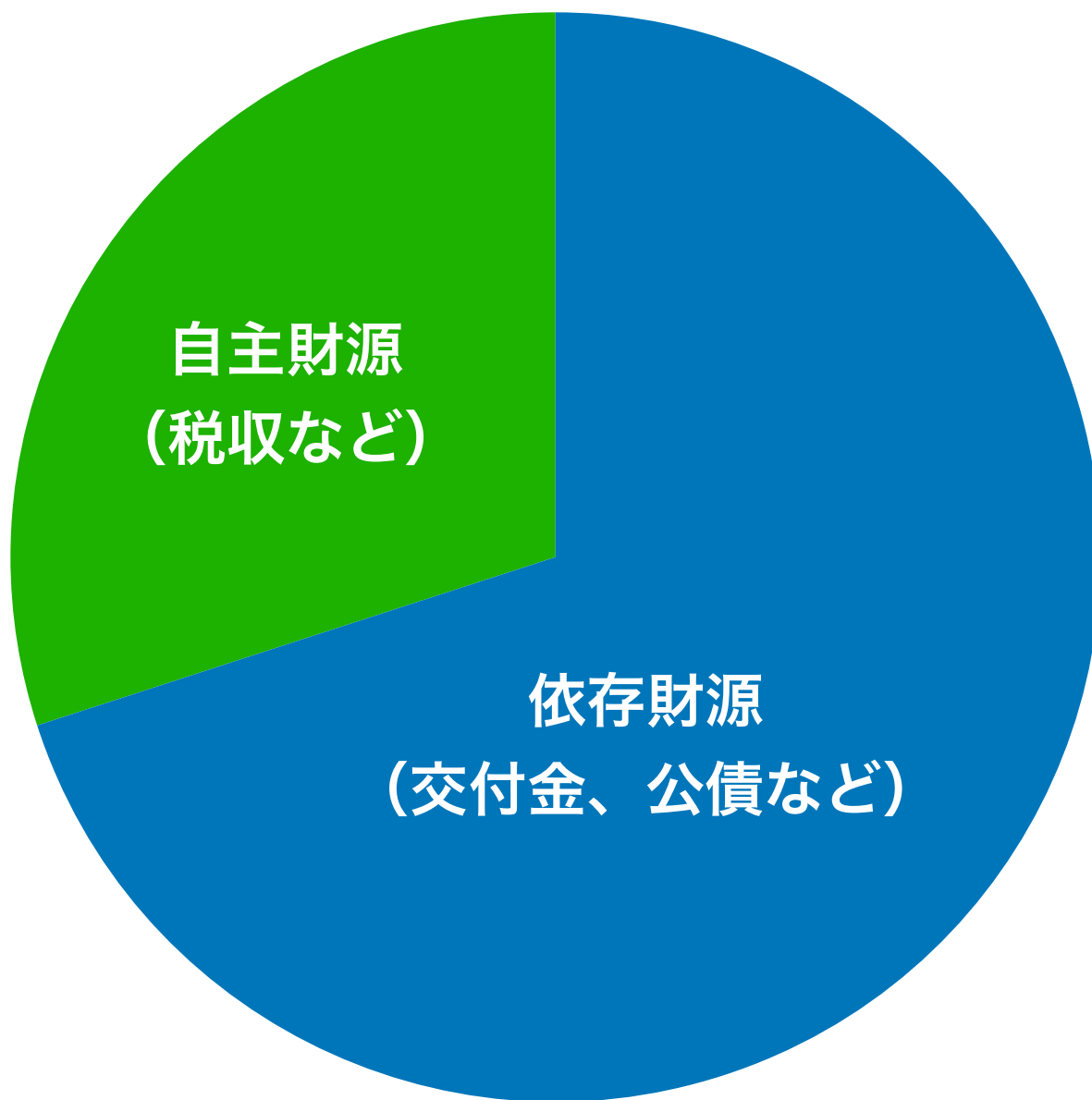
- ・貸出数
- ・来館者数
- ・蔵書数
- ・面積
- ・予算
- ・・・など



<これから>

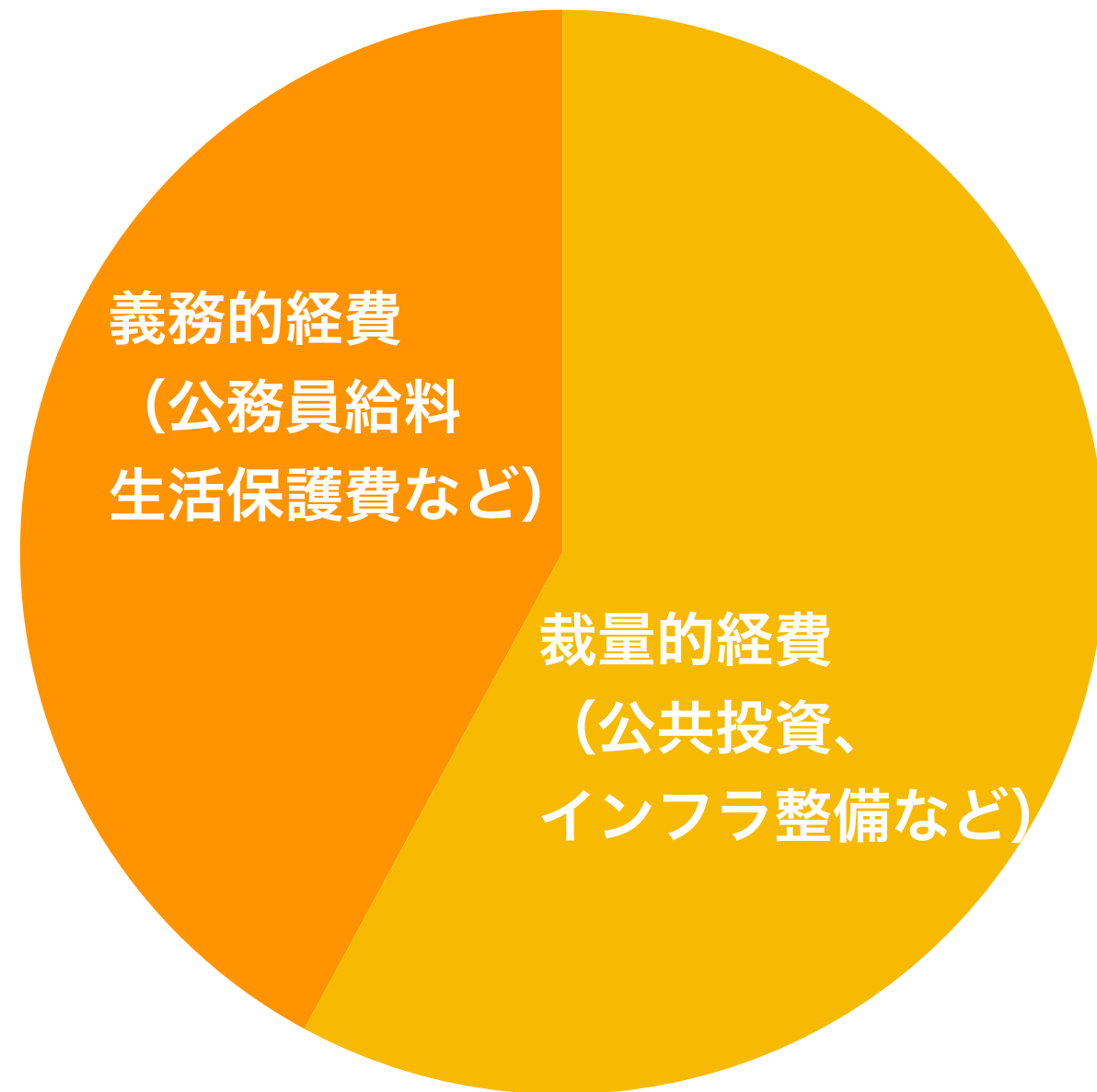
- ・創発性
- ・包括性
- ・寛容性
- ・柔軟性
- ・文化的公平性
- ・心理的安全性

地方自治体（1600市町村）の財政



歳入

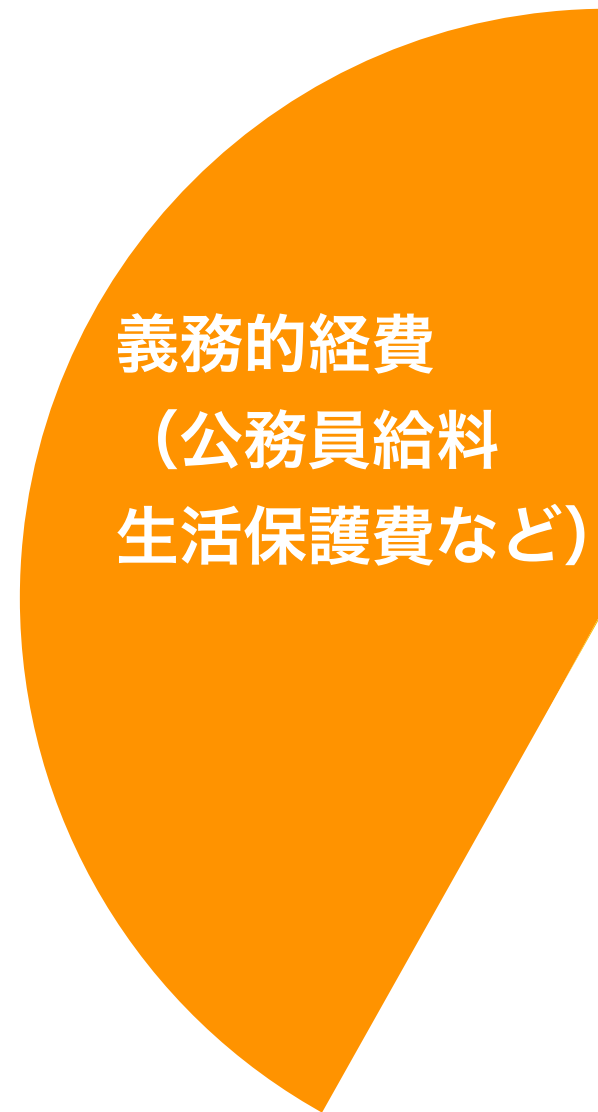
＝



歳出



自主財源
(税収など)



義務的経費
(公務員給料
生活保護費など)

このふたつのどちらが大きいかを調べる = 経営状態の目安



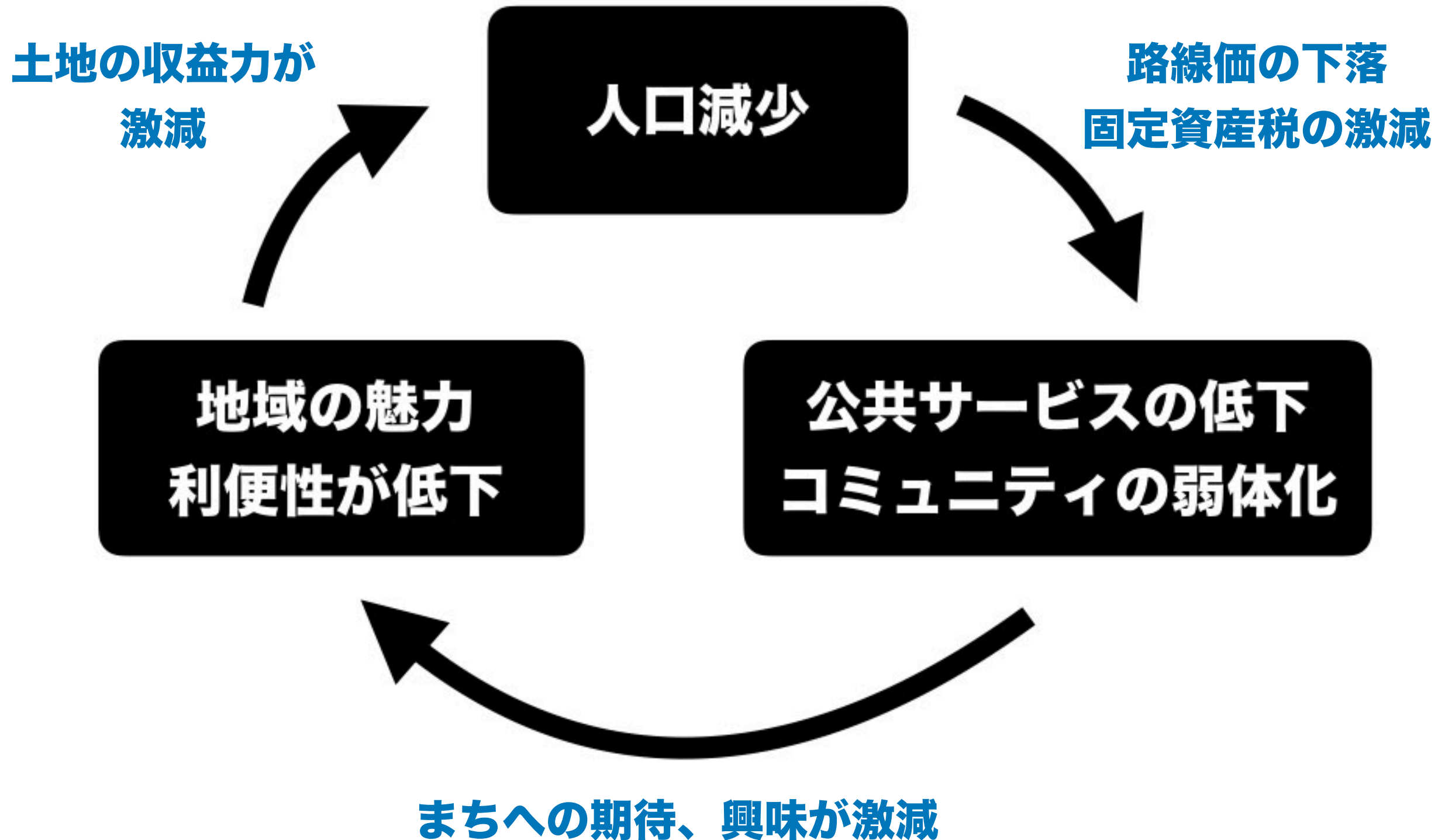
税金の無駄！

自主財源率 < **義務的経費率**

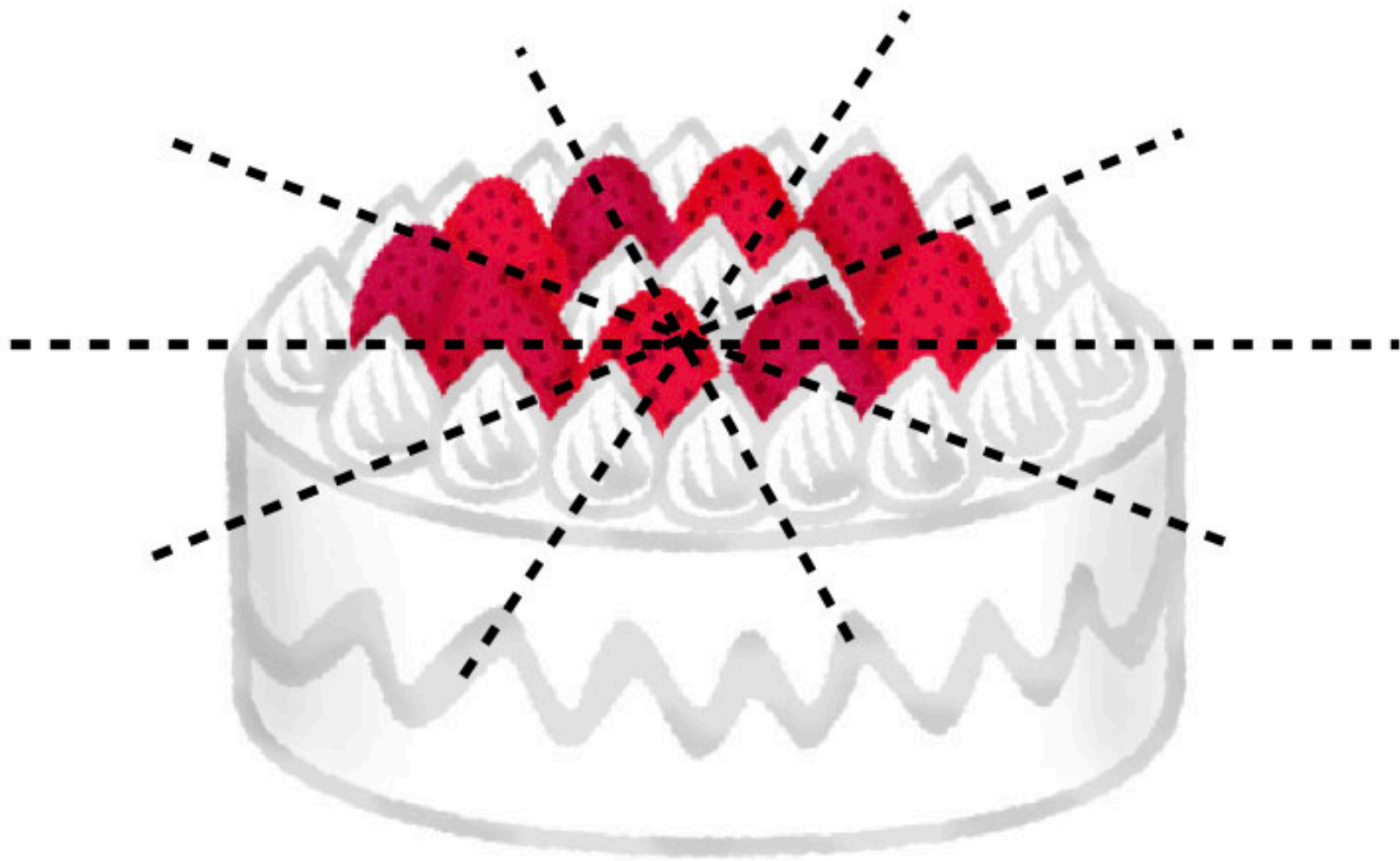


コストカット

都市経営の負のスパイラル



利用率を増やし、
町民一人当たりのコストを安くする



「ケーキカット」

スパイラルからの脱出

選ばれるまちへ

人口減少

小さなまちだからこそ
できる公共サービス

暮らしの
質の向上

地域の魅力
利便性が向上

多様化するニーズに
公民連携で対応

自分のまちに
責任をもつ町民



スーパーマーケット

整体

歯科

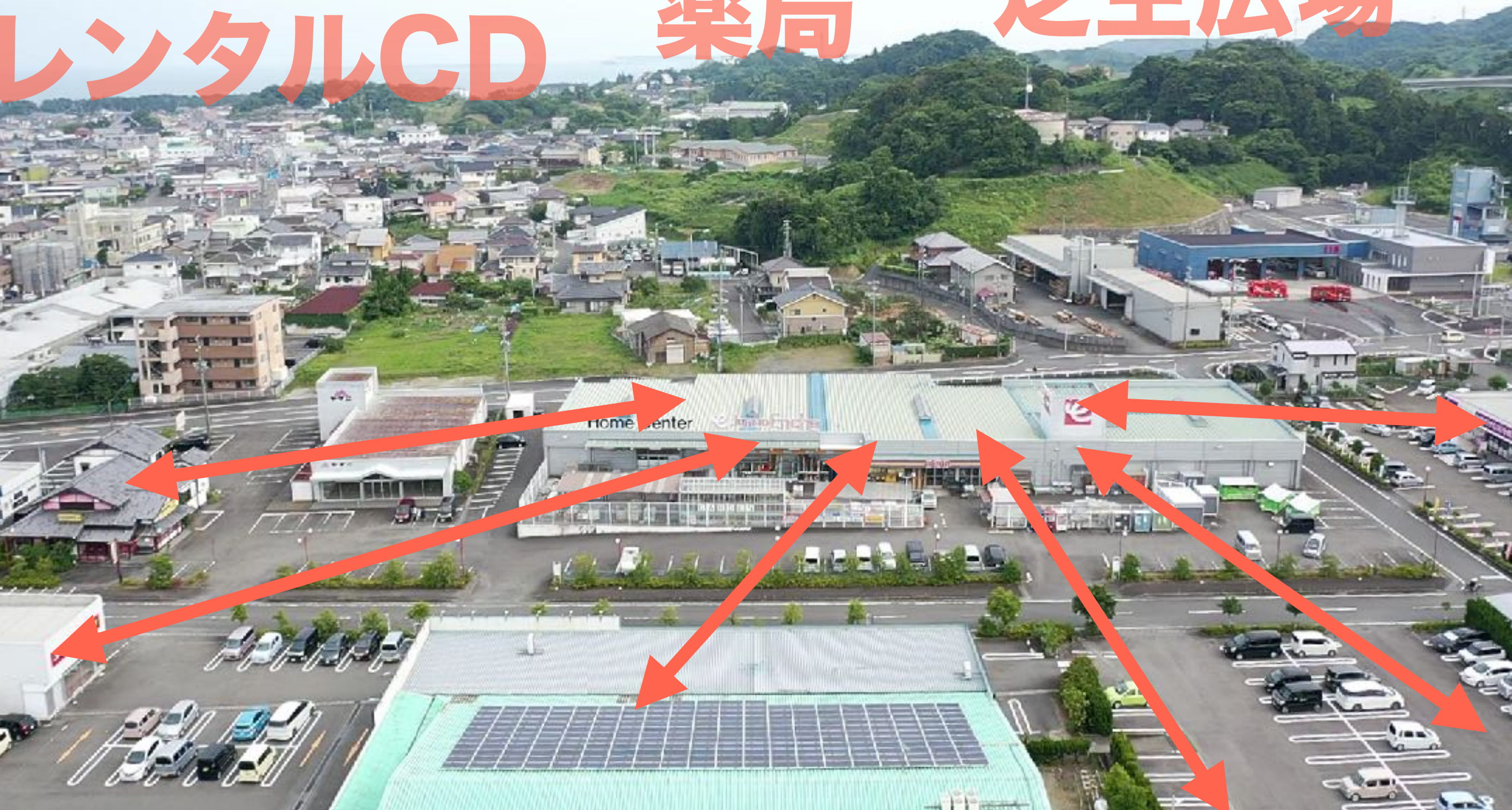
飲食店

スポーツジム

レンタルCD

薬局

芝生広場



図書館「いこっと」でエッグハント！ 牧之原、1周年でイベント

2022.3.24



榎原支局 足立健太郎

牧之原市立図書交流館「いこっと」（同市波津）で23日、春の訪れを祝うキリスト教の行事「イースター（復活祭）」にちなんだイベント「いこっとでエッグハント」が始まった。4月30日まで。



イベントを楽しむ子どもたち＝牧之原市波津の市立図書交流館「いこっと」

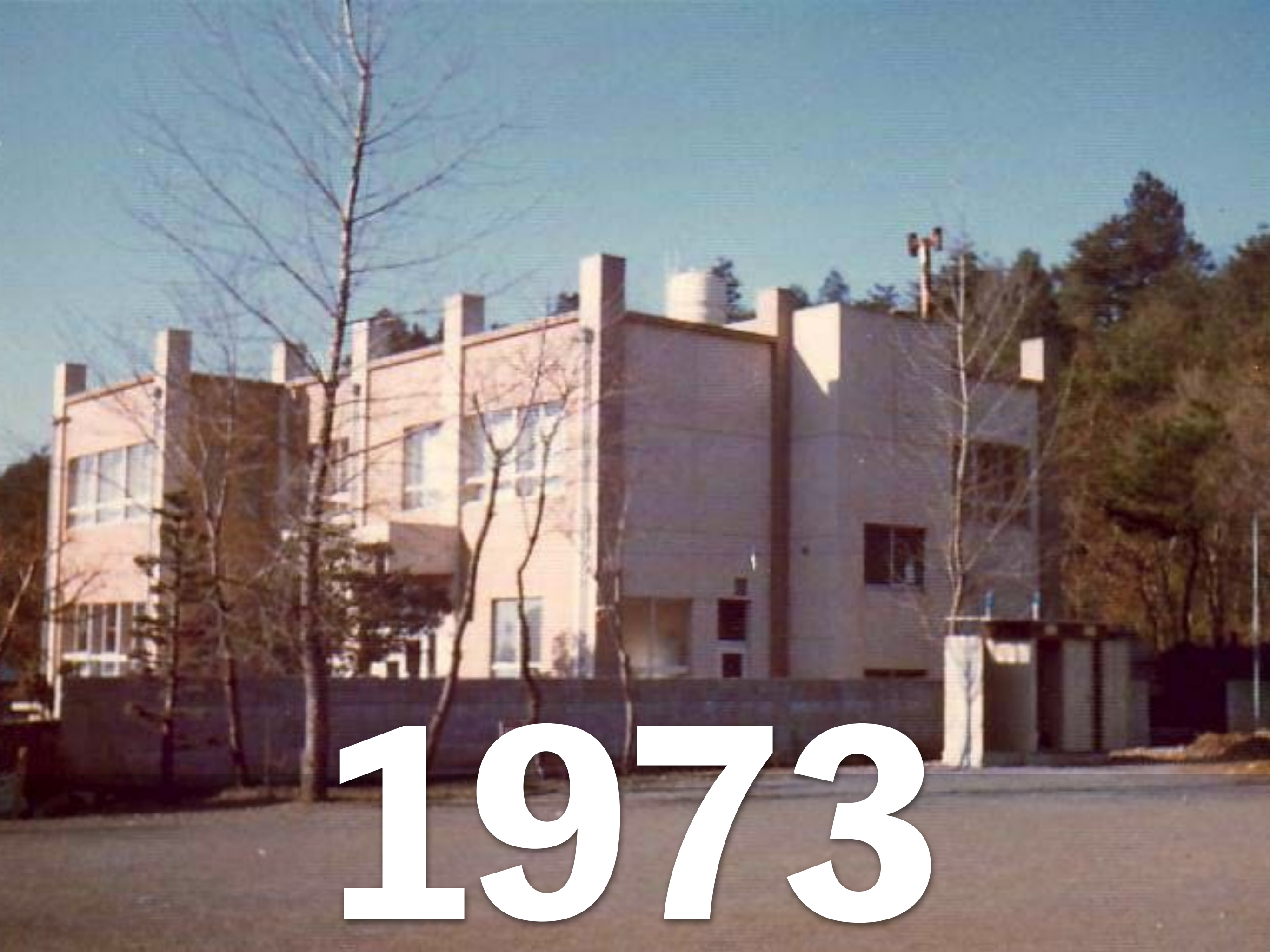
館内にはキーワード付きのたまごが各所に隠されていて、受付などで配布している解答用紙にワードを書き込んでいくと、一つのメッセージが完成するという。正解者には景品を贈呈する。

今年のイースターにあたる4月17日が、同館開館1周年となることから、図書館の記念日を周知しようと企画した。初日は春休みを迎えた多くの子どもたちが来館し、解



Mizuho
town
library

瑞穂町
図書館



1973



町図書館

2019












「そもそも図書館ってあんま行かないよね」

「本はネットで買えるしね」

「静かにしないと怒られるし」

「何となく緊張して息が詰まるの」

「常連さんが幅を利かせてそう」

A group of five people are gathered around a large wooden table in a meeting room, engaged in a collaborative activity. The table is covered with numerous yellow and pink sticky notes, some of which are arranged in a grid-like pattern. There are also several sheets of paper with diagrams and text, including one that says "METRO POLICE". A red cap is visible on the table. The participants are focused on their work, with some looking at the sticky notes and others at the papers. The background shows a whiteboard and a projector screen.

私たちが本当にほしい「公共空間」ってなんだろう

これからの図書館とは

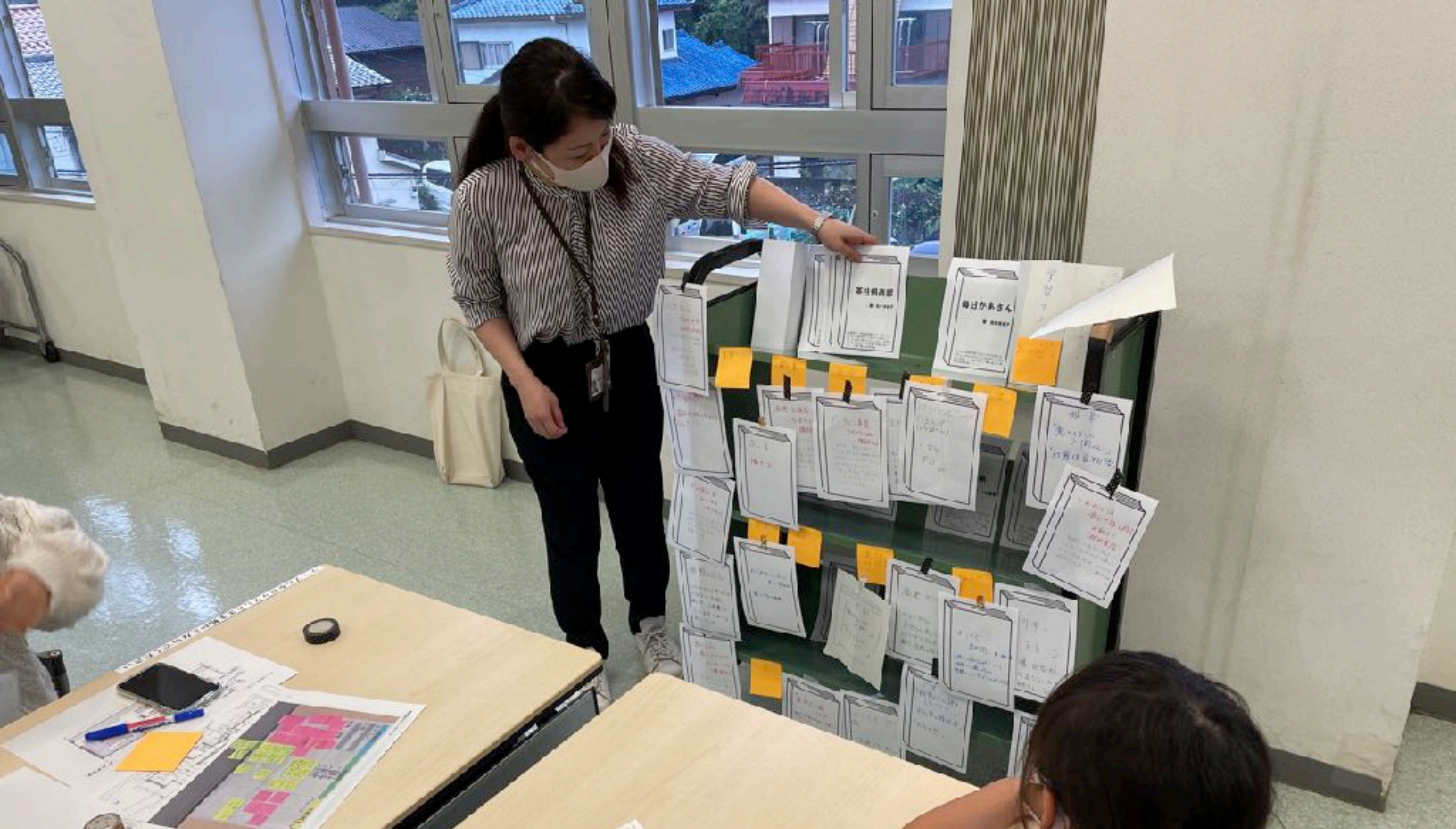
「利用者が自分の叶えたいことを
主体的に実現していく、
エンパワーメントのための場所」

（吉田右子）

司書

西村優子さん

図書館職員の仕事ってどんなこと？



「配架計画」を一緒につくろう





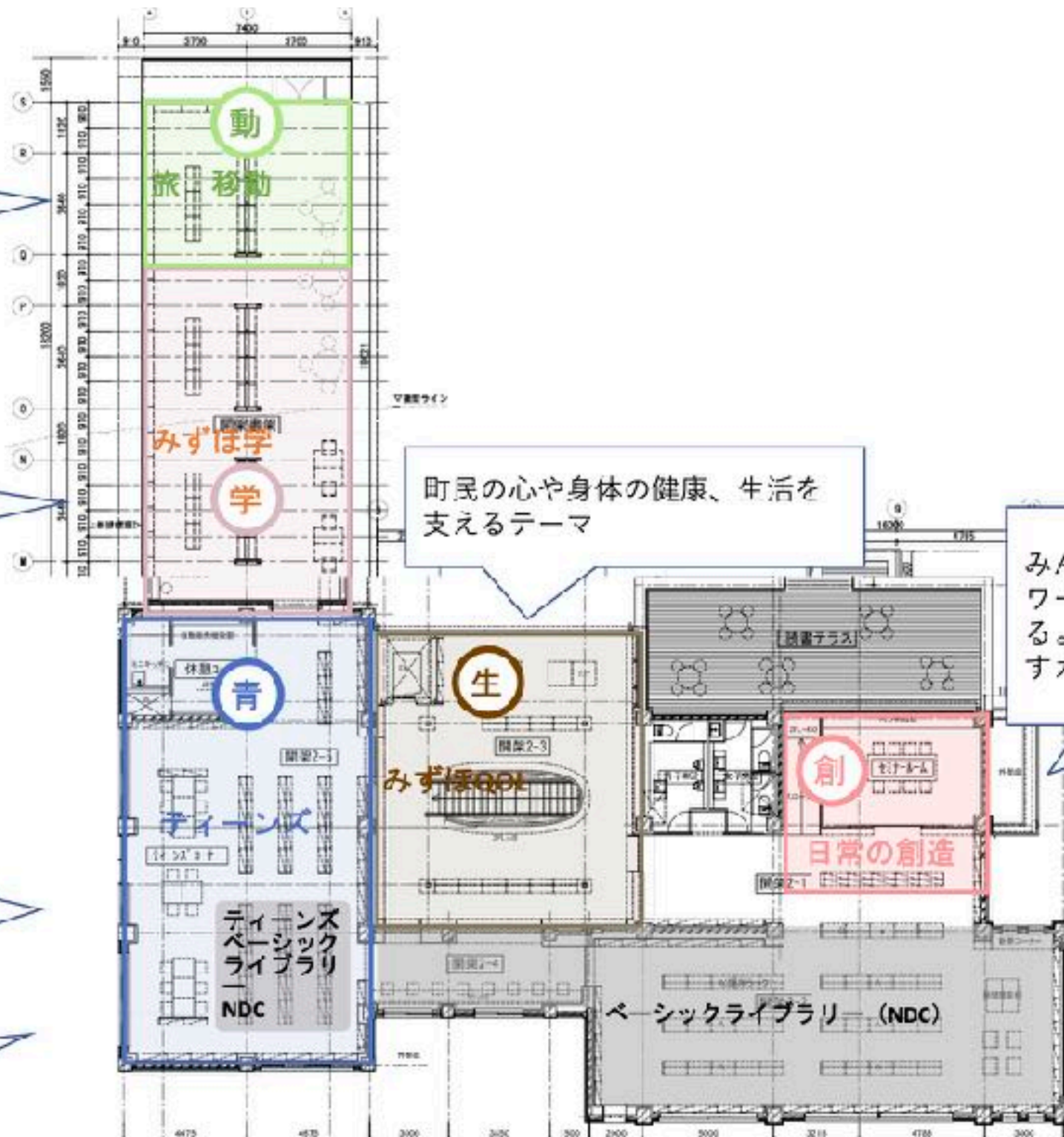
この町ならではの分類を名付けよう

旅や移動がテーマ。
年齢にかかわらずアク
ティブに活動することを
各テーマで提案

瑞穂町の農産物や、横田基
地など、地域のことを学ぶ

青春の「青」
自習コーナーではなく、
ティーンズも主体的に社
会と関わるための、入口
になる各テーマを設定

ティーンズ向け文学を中
心としたベーシックライ
ブラリーを内包



町民の心や身体、健康、生活を
支えるテーマ

みんなで集まって活動する場。
ワークショップなども開催で
きるよう、手芸やDIYなど手を動か
すカテゴリーを配置

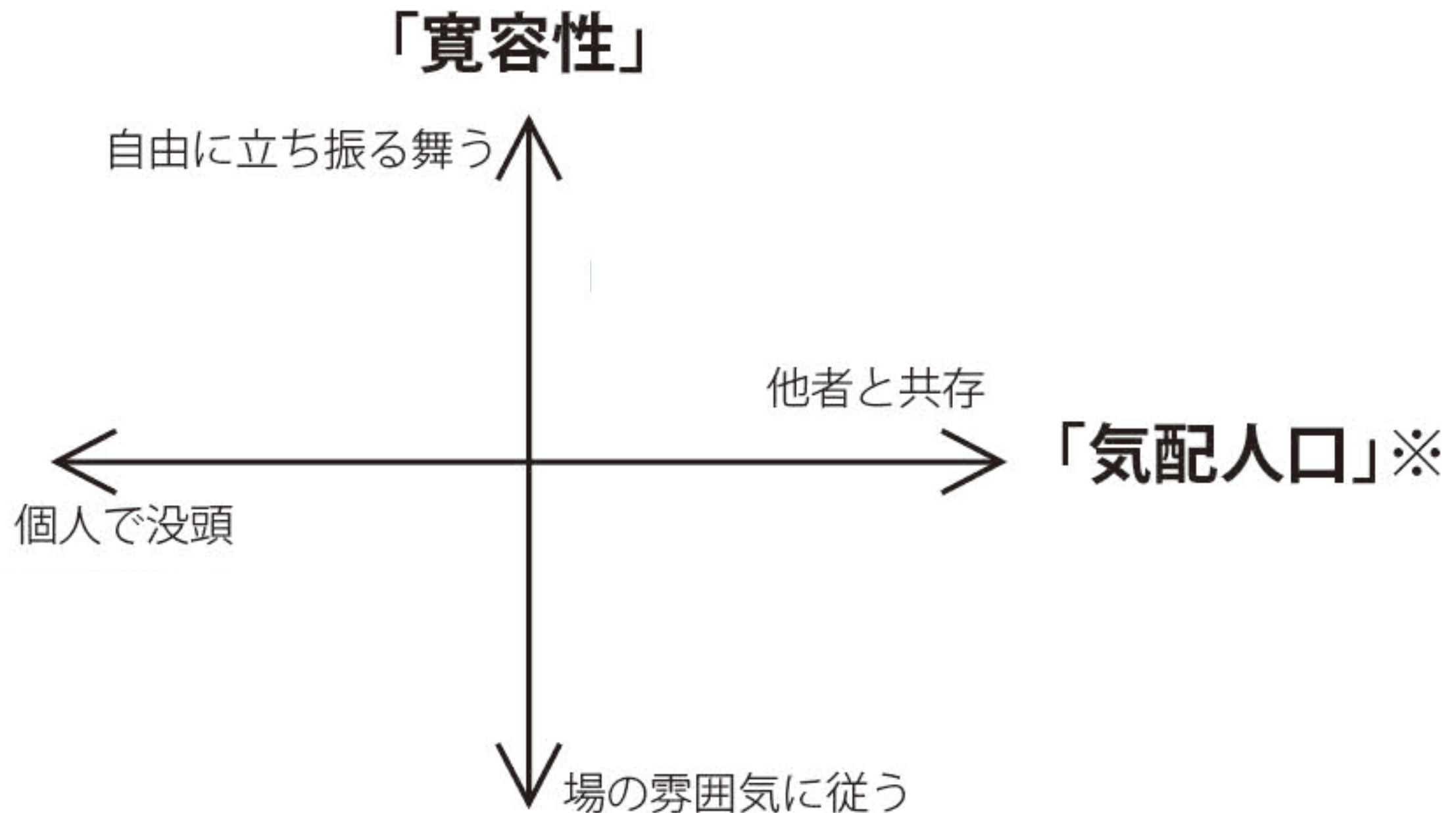
ベーシックライブラリーは、
十進分類法で配架

瑞穂町ならではの図書分類と配架計画

町民たちが考えたオリジナルの「テーマ配架」



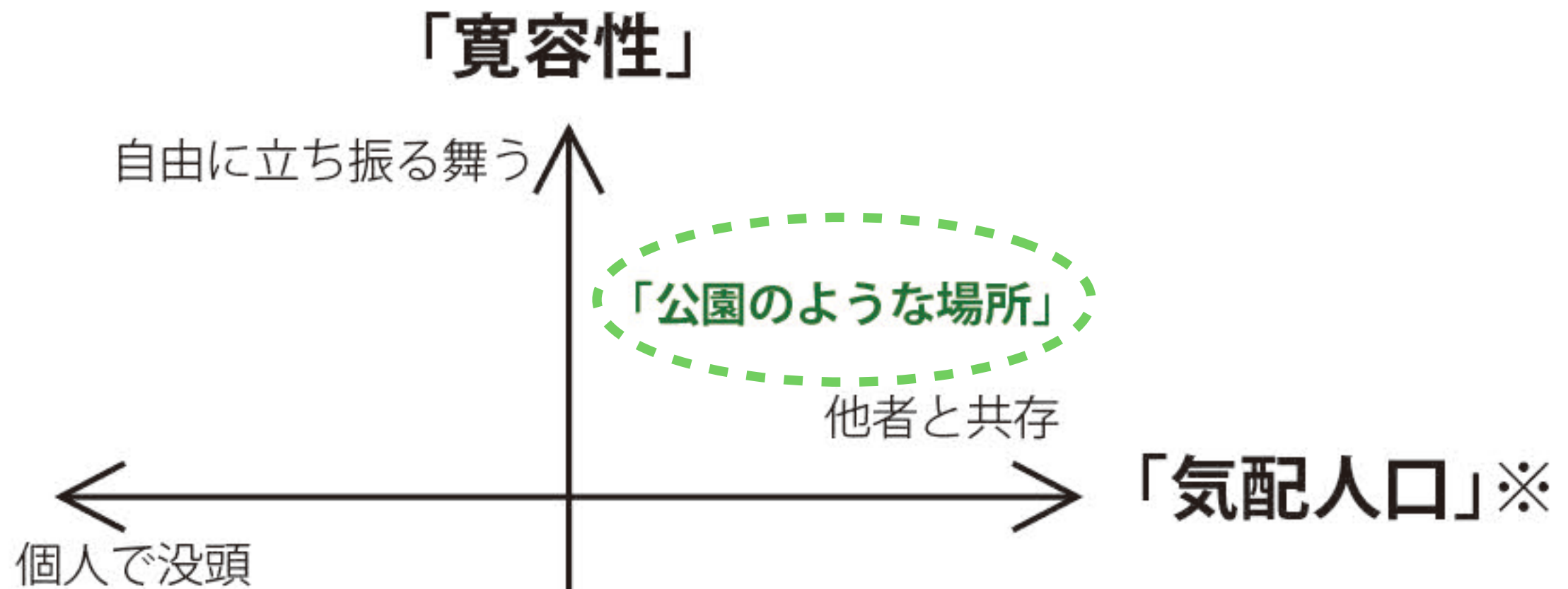
「静か \leftrightarrow にぎやか」を空間の質で捉える



※「気配人口」

直接関わる / 関わらないに依らず、ひとつの空間に共存することで
安心やつながりを感じることのできる人の数

「静か \leftrightarrow にぎやか」を空間の質で捉える



「静か \leftrightarrow にぎやか」を空間の質で捉える

「寛容性」

自由に立ち振る舞う



他者と共存



「気配人口」※

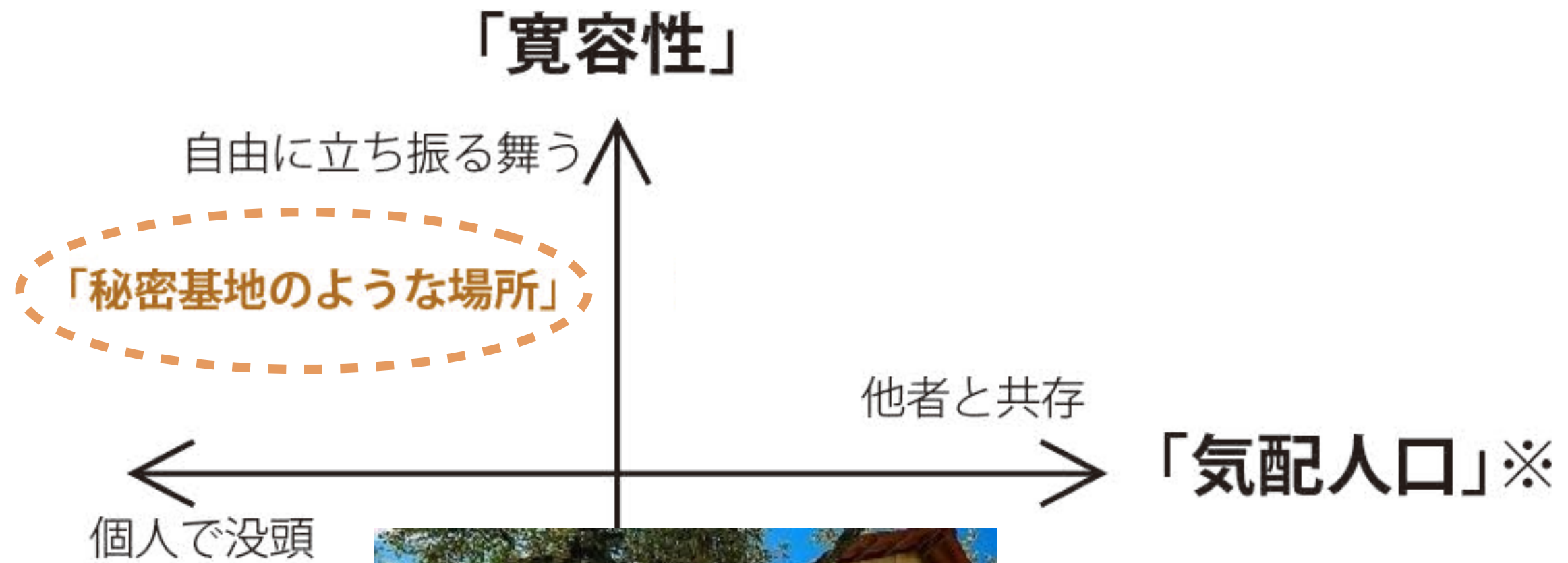
「教会のような場所」



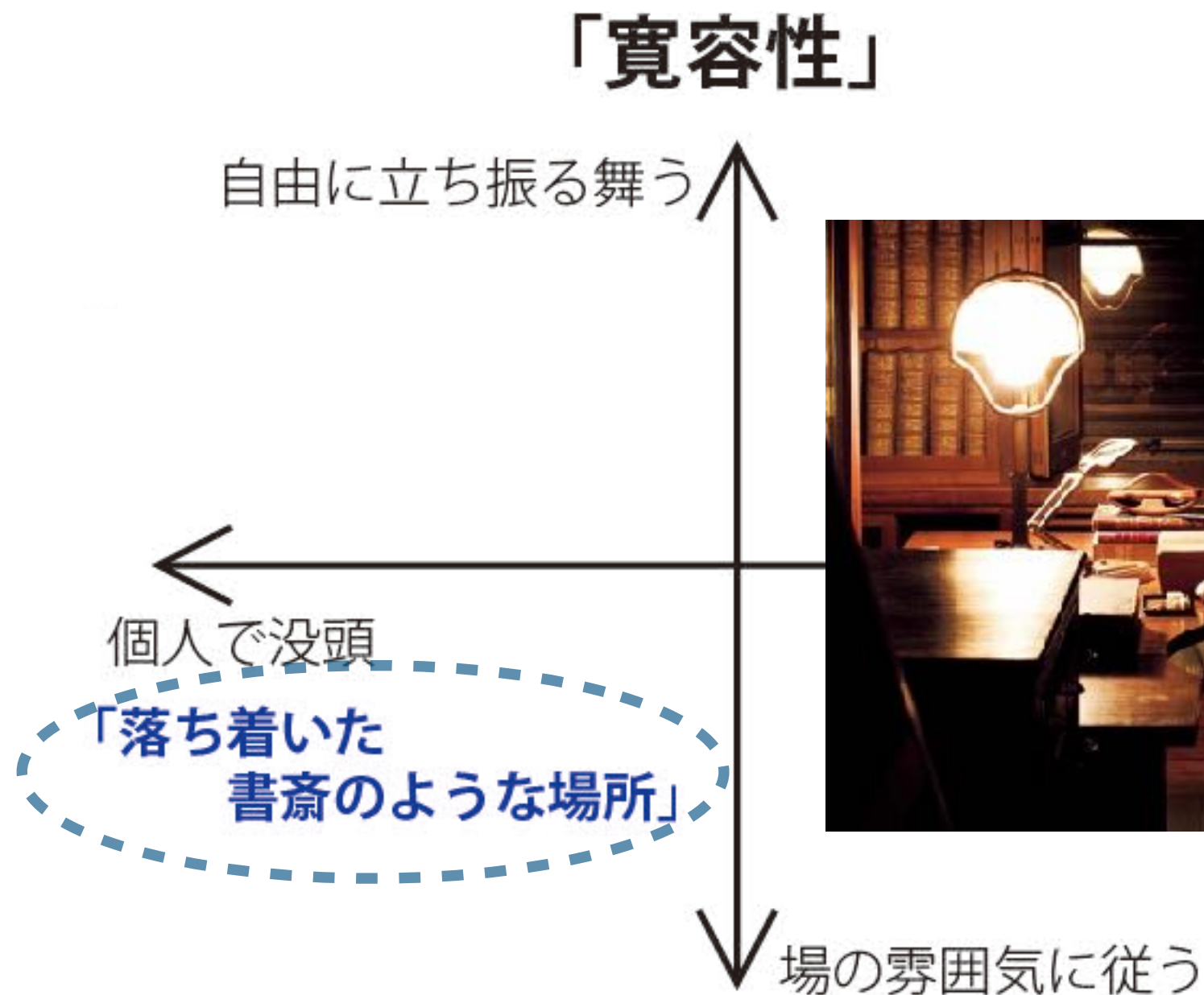
場の雰囲気に従う



「静か \leftrightarrow にぎやか」を空間の質で捉える

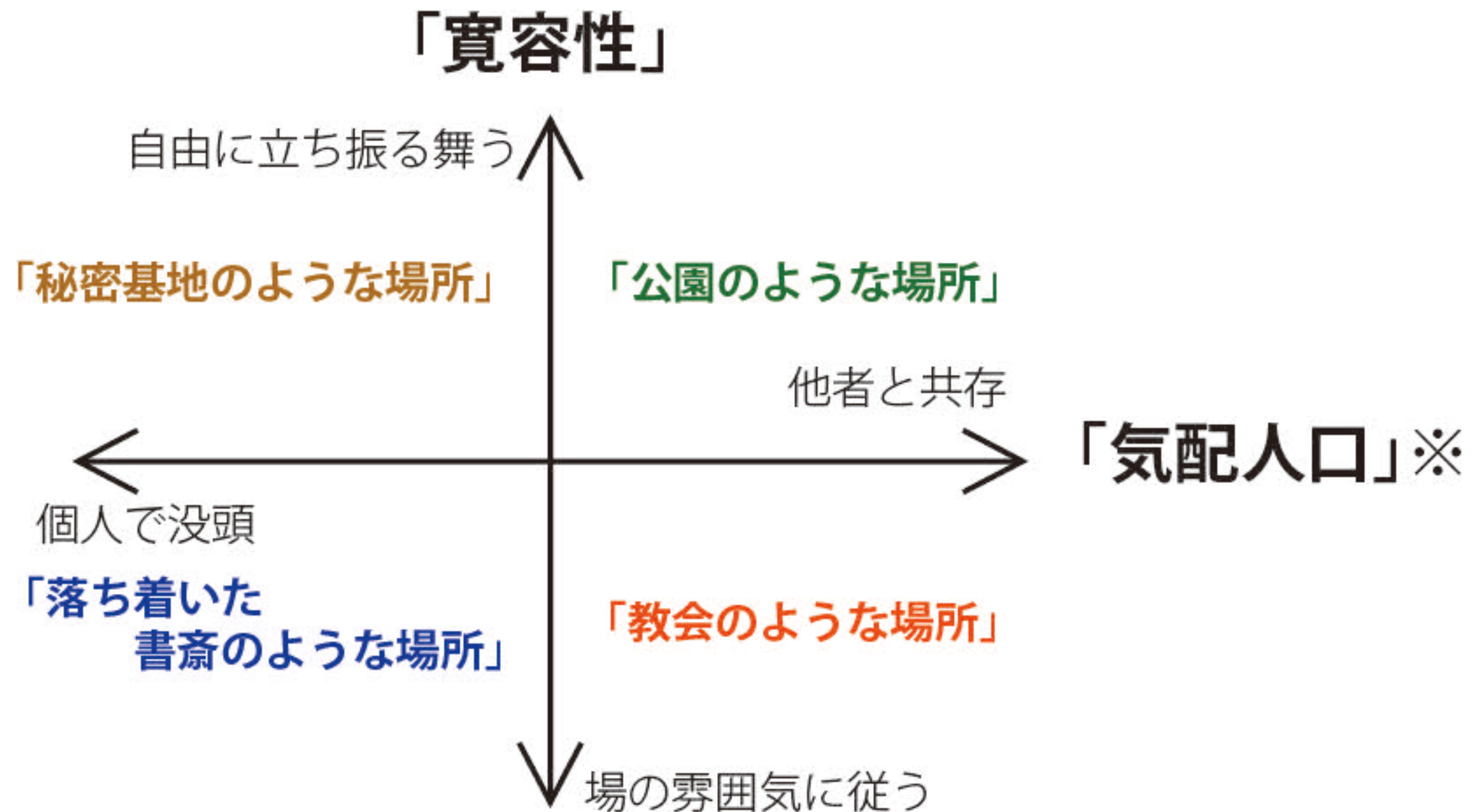


「静か \leftrightarrow にぎやか」を空間の質で捉える



このマトリクスに応じた
空間や家具什器、色調や照明をデザインしていく

「静か \leftrightarrow にぎやか」を空間の質で捉える



(貼り紙) ルールではなく、空間の質で活動をナッジする

瑞穂町図書館

2022年リニューアル





分断されていたまちをつなげる











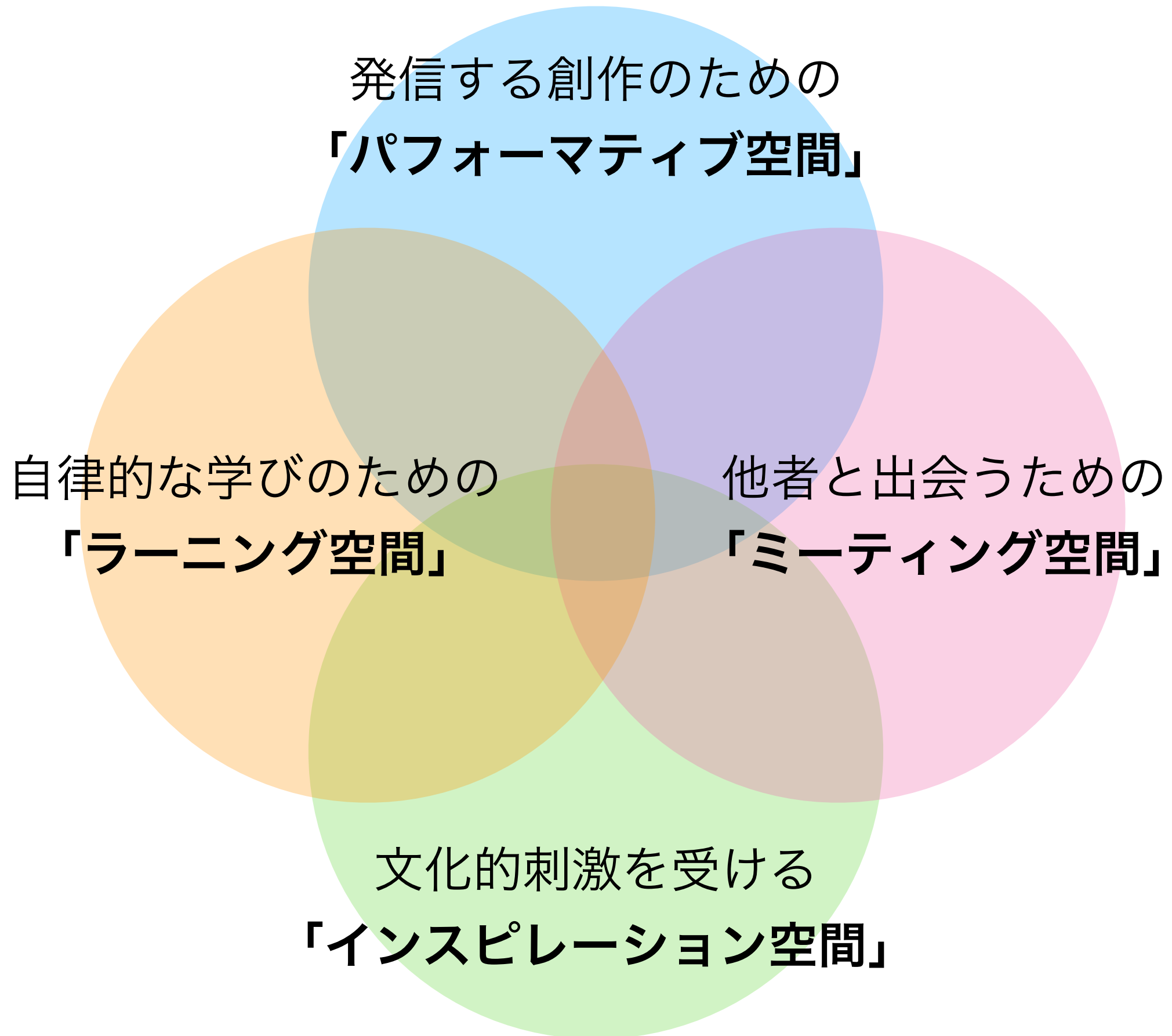


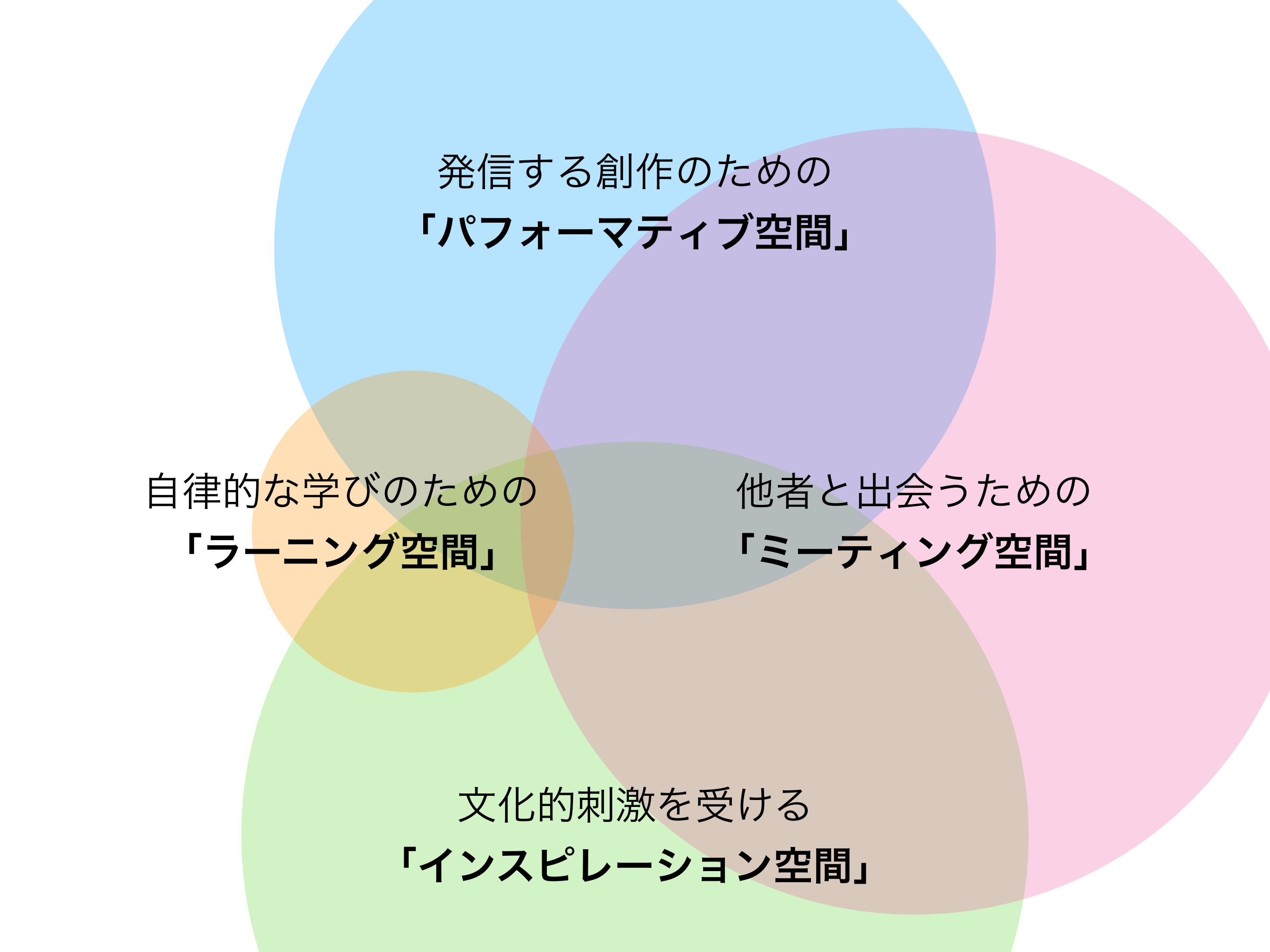




※ボランティアセンターみずは登録団体

ヨコムスンの公共図書館の四空間モデル





発信する創作のための
「パフォーマティブ空間」

自律的な学びのための
「ラーニング空間」

他者と出会うための
「ミーティング空間」

文化的刺激を受ける
「インスピレーション空間」

誰もが自分らしく過ごすごとができる
そこにもいいと許されているような

寛容で包括的な公共空間を

発注者と設計者が一丸となってつくる

Mizuho
town
library

瑞穂町
図書館



飲み物可

Drinks allowed

Mizuho
town
library

瑞穂町
図書館



飲食可

Eating and drinking allowed

多摩産材利用品



瑞穂町
図書館

BE PUBLIC, NOT YOUR WORLD

誰もが利用しやすい場所
であるために
わたしにできることは
なんだろう

瑞穂町
図書館

**YOU CAN RELAX,
BUT NOT YOUR HOME**

みんなも快適にすごすために
あなたができることは
なんですか

多摩産材利用品





君たちがこれからの人生でどんな状況にあったとしても
この場所はいつも君たちを受け入れる
安心して好きなだけを過ごしていい



(きっかけは何であったとしても)

幼少期から継続して図書館との関わりを持つ



図書館がどんなところなのか、

図書館では何ができるのかを自然に覚えていく



人生のどこかのステージで

何かのきっかけで図書館に容易に戻ってくることができる

高齢者施設「寿楽」 (瑞穂町)



多世代交流施設（+いろいろ）



高齢者施設「寿楽」（瑞穂町）







「多世代交流」ってなに？

実際に交わらなくてもいい。

「ただそこにいていい」と

許されているだけでも

「交流」である。

(と定義しよう)

(そうか、「本のない図書館」をつくらう！)

多世代交流センターMIZCUL

2025.5 OPEN















ミズカルのだんだん畑で
収穫した野菜です
ご自由にお持ちください

- ・きゅうり お一人3本まで
- ・なす お一人2本まで
- ・ミニトマト お一人2個まで



ガレリアかめおか（京都府）



道の駅と図書館の複合事例



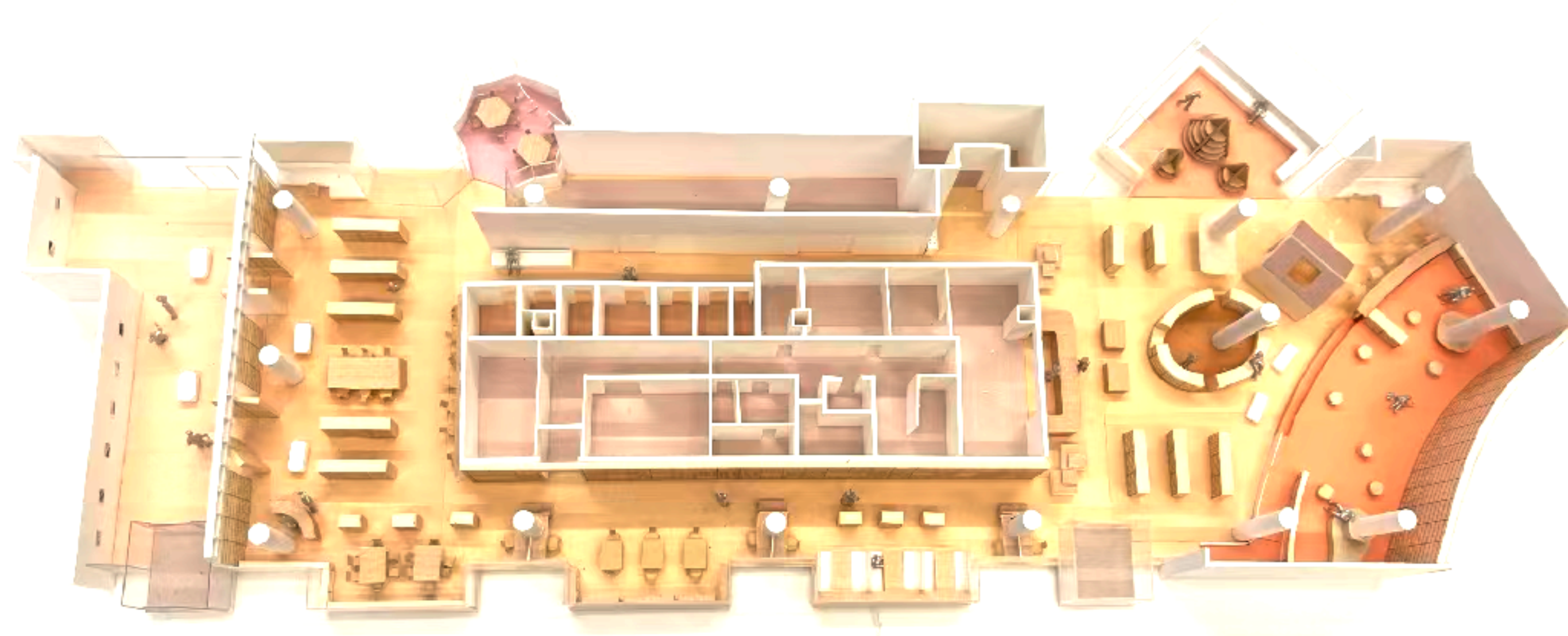
道の駅「きよなん」 (千葉県)

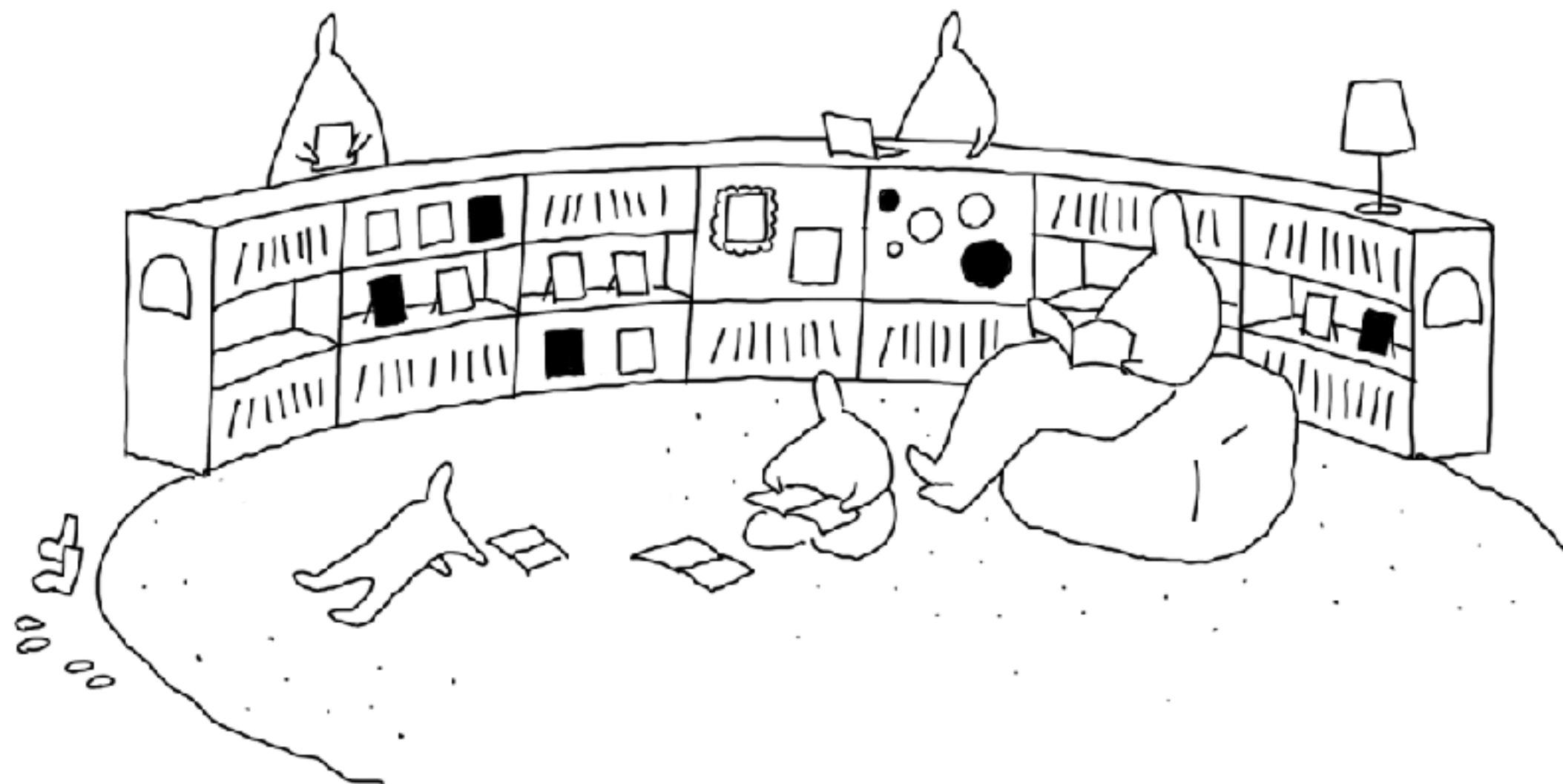


道の駅「鯉が窪」 (岡山県)



道の駅「ガレリアかめおか」 (京都府)





「子どもを連れていく場所」ではなく
「ともに楽しむ場所」へ

積極的な連携

結節点
= ハブ



施設内

「すべてが図書館」

として見立てる















丸広百貨店 (埼玉県)



百貨店はついに「大閉店時代」に突入、 東京商工リサーチが解説

今年に入り、百貨店の経営破綻や閉店が相次いでいる。中でも深刻なのは地方都市で、山形県と徳島県はついに百貨店が1つもない「百貨店空白県」になった。だが、足元の百貨店の苦境は序章にすぎない。新型コロナによる業績への影響が深刻化する中、百貨店の閉店ラッシュがいよいよ本格化しそうだ。※「[ダイヤモンド・オンライン](#)」にて、2020年10月16日に掲載された増田和史氏（東京商工リサーチ情報部）による記事転載になります。

 By 増田和史（東京商工リサーチ情報部） 2020/10/30



消費者の百貨店離れに 消費増税と暖冬がとどめ

百貨店の閉店が加速している。2020年は1月に山形県の老舗百貨店、大沼が負債30億円を抱えて破産を申請したのを皮切りに、8月末までに全国で12店舗が閉店した。

特に、春から夏にかけ、新潟三越、そごう・西武の地方4店舗、福島県の老舗百貨店・中合など、地域の有力10店舗の閉店が集中する異常事態で、百貨店の苦境をさらけ出した。

折しも、コロナ禍で頼みの綱だったインバウンド需要が消失し、外出自粛や感染拡大防止に備えた臨時休業、時短営業が広がった時期だった。まさに、百貨店を頂点にした小売業の“冬の時代”を象徴する出来事でもあった。

とはいえ、これまでの閉店はすべて新型コロナの感染拡大前からの計画で、時期が重なったにすぎない。ここ数年、各社は店舗戦略の見直しやリストラを断続的に進め、その結論が店舗撤退という既定路線だった。

新型コロナの前から、消費者の百貨店離れが広がり、2019年10月の消費増税と暖冬がとどめを刺したと見るべきだ。

だが、新型コロナの影響で今期業績は大幅に見込みが狂い、リストラ策がピッチをさらに早める可能性も出てきた。百貨店の「大閉店時代」は、むしろこれから本番を迎えるだろう。

デパート・百貨店

最新記事



③ 2021-02-01 ■ デパート・百貨店, 中国, 小売店, 広島, 開店情報
【閉店】天満屋 広島アルパーク店



③ 2021-01-31 ■ デパート・百貨店, 九州・沖縄, 小売店, 福岡, 開店情報
【閉店】井筒屋 大牟田ショップ



③ 2021-01-12 ■ デパート・百貨店, 四国, 小売店, 愛媛, 開店情報
【閉店】いよてつ高島屋大洲店



③ 2021-01-07 ■ デパート・百貨店, 小売店, 東京, 開店情報, 関東・甲信越
【閉店】パーニーズ ニューヨーク新宿店



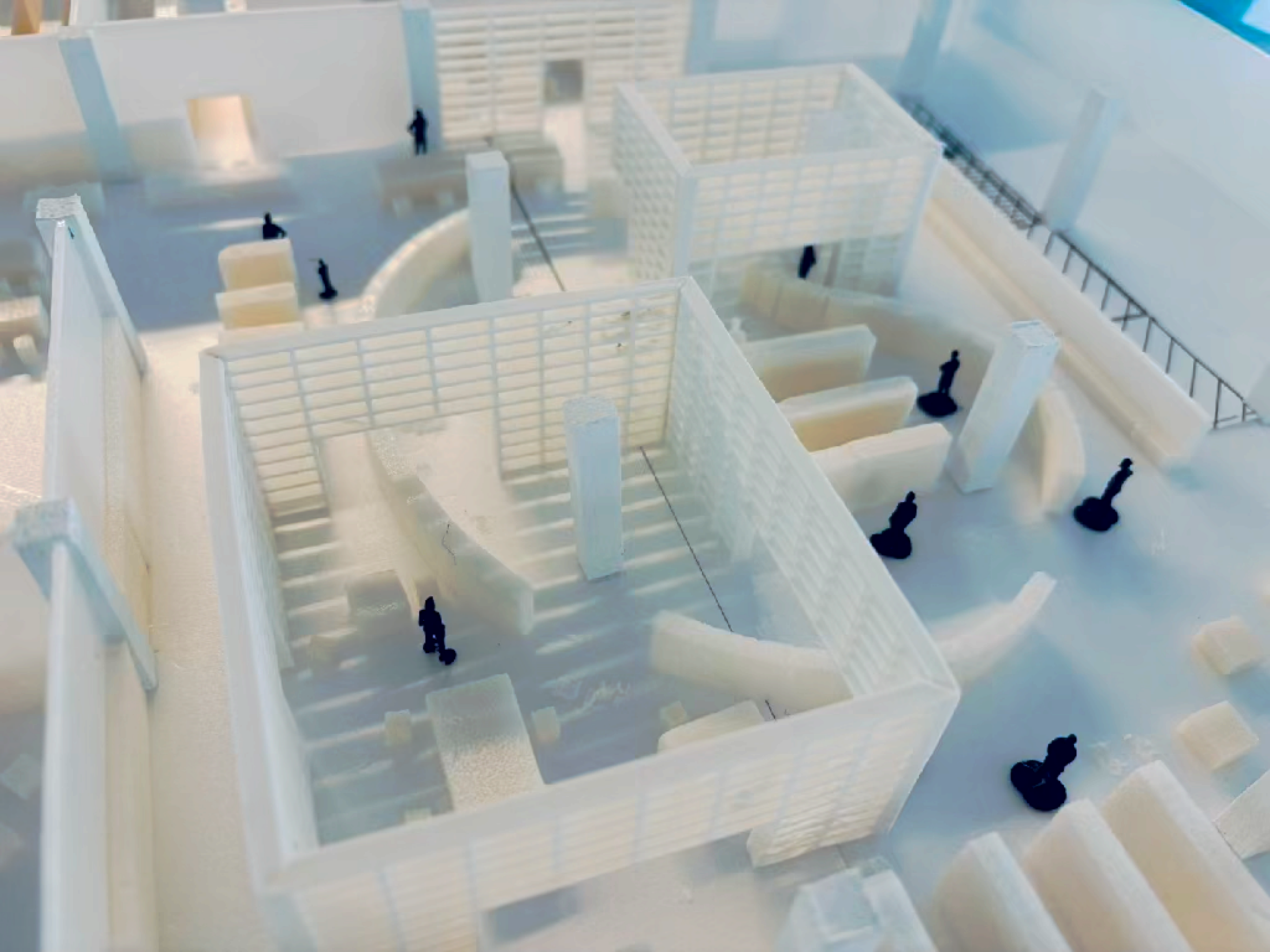
③ 2020-12-22 ■ デパート・百貨店, 宮城, 小売店, 東北, 開店情報
【閉店】エムアイプラザ 三越登米佐沼店



③ 2020-12-22 ■ デパート・百貨店, 埼玉, 小売店, 開店情報, 関東・甲信越
【閉店】ファミリーまるひろ日高店



③ 2020-12-18 ■ デパート・百貨店, 兵庫, 小売店, 近畿, 開店情報
【閉店】三田阪急





2027年リニューアルオープン予定

船越小学校「メディアセンター」 (秋田県)



2025年オープン







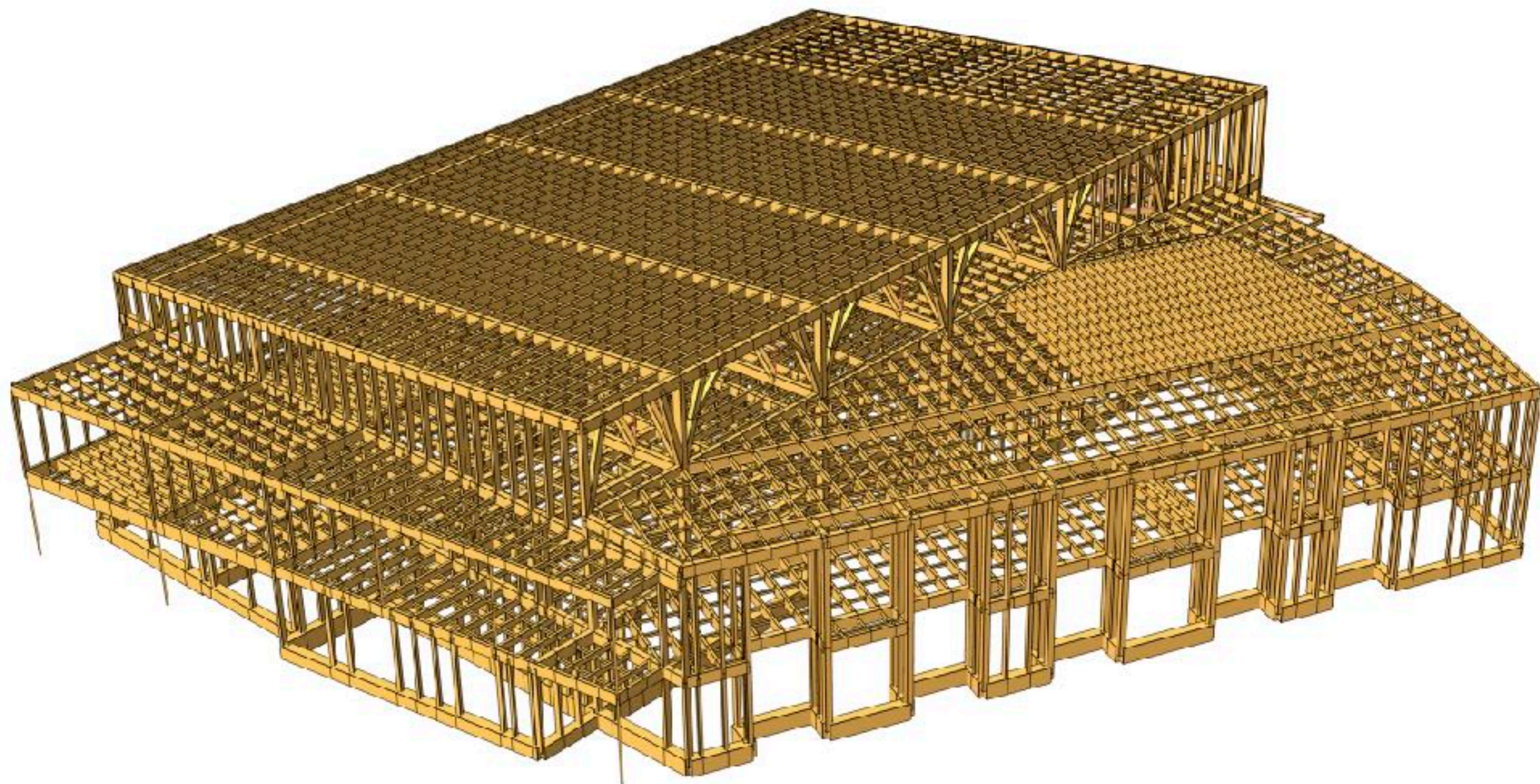






長崎県 長与町





日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4
編集・営業 ☎03-3820-3500
FAX03-3820-3519
総務・販売 ☎03-3820-3511
FAX03-3820-3518
<https://jfpj.jp/>
eメール info@jfpj.co.jp
購読料 1ヵ月 6,750円
©日刊木材新聞社 2024
本紙の無断複製(コピー・PDF)配布は、著作権の侵害にあたり違法です。



木材建材ウィフリー
Japan Lumber Reports

図書館初の全層木造耐火1時間・ZEB

木造木質化・太陽光発電等で環境負荷低減

長崎県長与町新図書館等複合施設

2027年4月に開館予定の長崎県長与町新図書館等複合施設「ホンテラッセ長与」は、延べ床面積30,000平方メートル超の大規模木造で、図書館としては初の在来軸組工法による全層木造の1時間耐火建築となる見通しだ。ZEB最上位等級の認証も図書館として初の取得になる。2階建てで構造躯体の材積は370立方メートル。躯体の木材はメンブレン仕様だが、木造木質化に加え200kWの大容量の太陽光発電を搭載するなどして、コスト性に配慮しつつ環境にやさしい建築を実現する。総工費は約20億円を見込んでいる。

長与町はゼロカーボンシティを宣言する。既存の図書館と保健施設が老朽化していたことから、ZEB仕様の複合施設を新たに建設することになった。公募型プロポーザルで選ばれて設計することになったスターパイロット(東京都)の浦丈典代表は、「耐木造、フルZEBとろストリーを共有

前月比減 や台風も影響 反供給

8月の合板供給は2カ月ぶりに減少し、内・外産合計でいずれも前月を下回った。国産合板の生産量は5月以降減少が続く。8月の出荷も稼働日が少なかったうえに盆明けの荷動きの鈍化で前月比減となった。ただ、8月は生産量が出荷量を上回った。輸入合板は2カ月ぶりに減少した。

内・外産合板の供給 0立方メートル増えた。出荷量が今年最高と

膨らんだ。また、車本でも加工が9月に入れたプレカット場もあり、広範囲が長期にわたり影響が

単位:1000㎡、%	
1~8月	前期比
1.628	100.6
1.608	101.3
1.459	101.9
1.399	112.9



未来のこどもたちに負担をかけない公共空間

2027年オープン予定



それぞれのまちには

それぞれの課題

それぞれのあるべき姿

があります

じぶんの町の

「ありがたい姿」

とはなにか

図書館はそのための
大きな役割を担えます

「図書館」に関わるみなさん

時代は50年に一度の
変化を迎えています

「当たり前ルール」を

鵜呑みにせず

常識にとらわれず

新しい時代の

じぶんなりの「仕事」を

発明してください

本や情報だけでなく

じぶんのいる「まち」

そこで生きる「人」たちへの

興味をたくさん持ってください

そしてじぶんだけで

解決しようとせず

まわりのたくさんの人たちに

甘えてください

一緒に

新しい公共を

つくりました